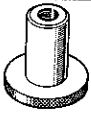
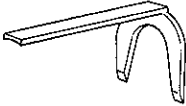


## 6 フロント アクスル & サスペンション

	ページ
フロント ホイール アライメント .....	6-2
フロント アクスル ハブ .....	6-7
フロント ショック アブソーバ .....	6-12
フロント サスペンション	
ボール ジョイント .....	6-26
ロワー アーム .....	6-26
ストラット バーおよびスタビライザ バー .....	6-29

# フロント ホイール アライメント

## 準 備 品

工 具		(株)バンザイ 扱い TB-302	アタッチメント, フロント ホイール アライメント	ホイール アライメント測定用 (アルミ ホイール付き)
		(株)バンザイ 扱い TB-701	プラー, ハブ グリース キャップ	グリース キャップ脱着用
計 器	キャンバ, キヤスタ, キングピン ゲージ			ホイール アライメント測定用
	トーイン ゲージ			ホイール アライメント測定用
	ダイヤル ゲージ			タイヤの振れ測定用
	ターニング ラジラス ゲージ			ホイール アライメント測定用

## 前点検項目

### 1 タイヤ サイズおよび摩耗状況点検

(1) サイズ違いがないことおよび左右の摩耗差が著しくないこと。

### 2 タイヤ空気圧点検

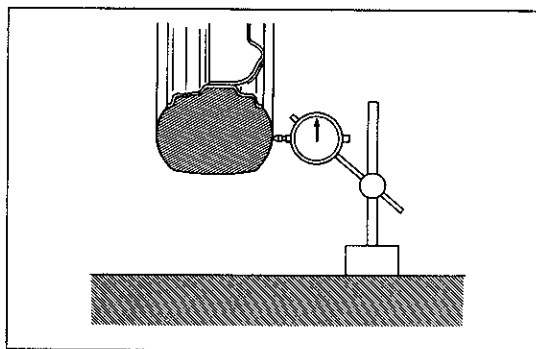
基準値

タイヤ サイズ	一 般 走 行 時 (kg/cm <sup>2</sup> )	
	前 輪	後 輪
6.45-14-4 PR	1.8	1.8
6.45-14-6 PR		
175 SR14	1.7	1.7
185/70 SR14		
185/70 HR14		
195/70 SR14		
195/70 HR14		
205/60 R15 89H	1.8	1.8

### 3 タイヤの振れ点検

限 度 3.0mm (縦方向, 横方向)

### 4 関係各部のボルト締め付け状態点検



C 8057

5 関係各部のガタ点検

- (1) ボール ジョイントのガタ
- (2) ステアリング リンケージのガタ, 変形
- (3) サスペンション関係のガタ, 変形
- (4) フロント ホイール ベアリングのガタ

6 フロント ショック アブソーバ点検

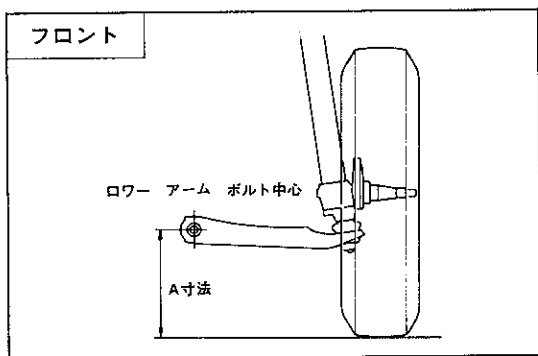
- (1) フロント ショック アブソーバが正しく作動しているかどうかボデーをゆすつて点検する。

7 車高点検

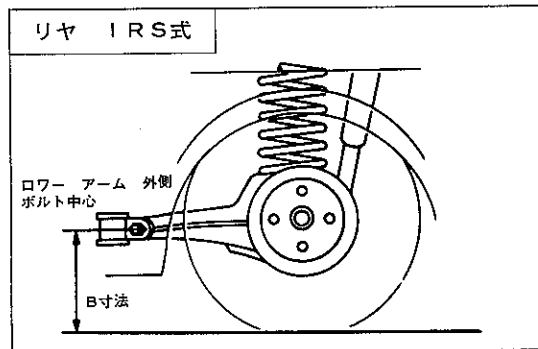
基準値

タイヤ サイズ	A寸法 (mm)	B寸法 (mm)	C寸法 (mm)
6.45-14-4 PR	223	—	256
6.45-14-6 PR			
175 SR14	222	274	255
185/70 SR14	218	270	—
185/70 HR14			
195/70 SR14	223	275	—
195/70 HR14			
205/60 R15 89H	217	269	—

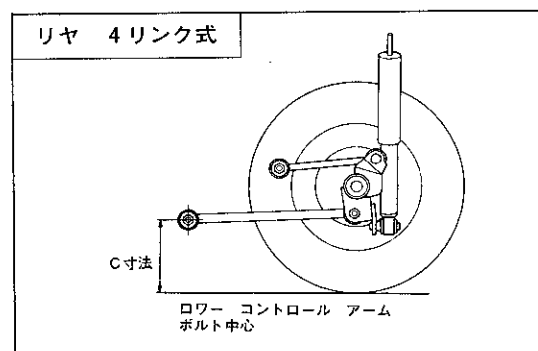
車高が基準値外の場合, ボデーをゆすつて修正してみる。修正できない場合はサスペンション部品のゆるみ, 変形などを点検する。



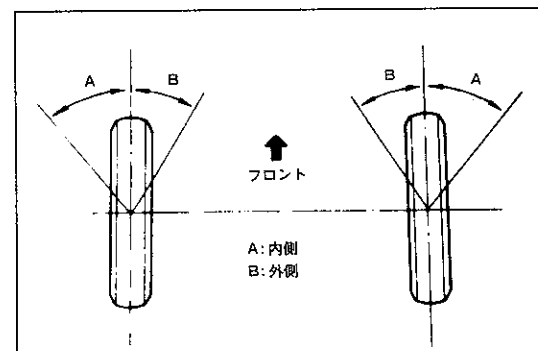
F A 0271



F A 0273



Z 2402



B 4472

フロント ホイール アライメント点検

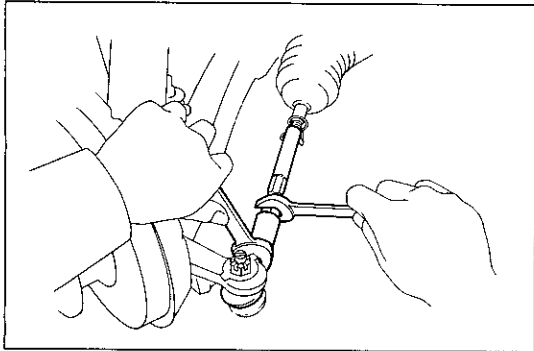
1 ホイール切れ角点検

- (1) ターニング ラジラス ゲージを使用して, ホイール切れ角を測定する。

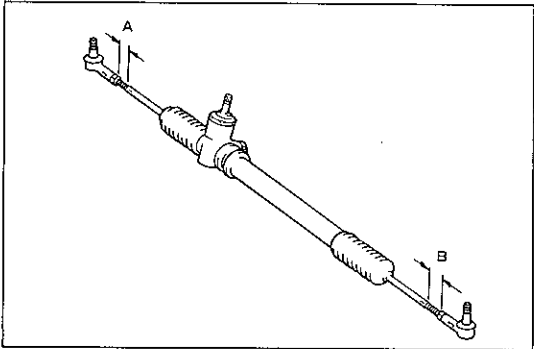
基準値 外側 33°25' (参考)

内側 38°±2°

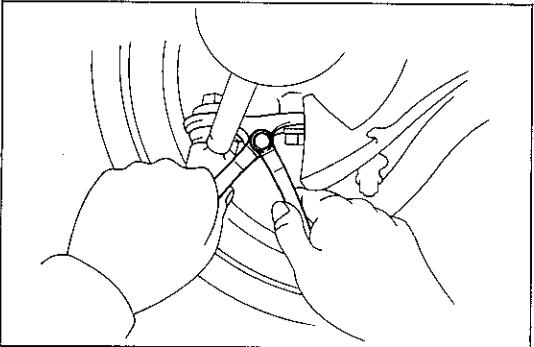
ホイール切れ角に左右差がある場合は修正をする。



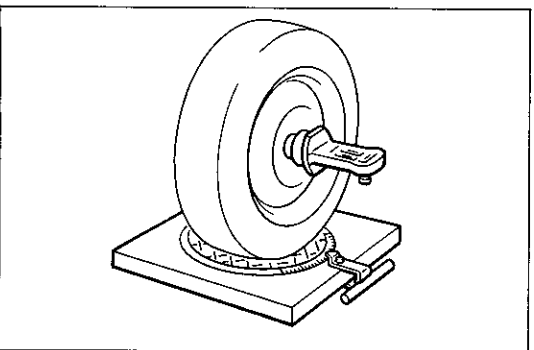
F A 0275



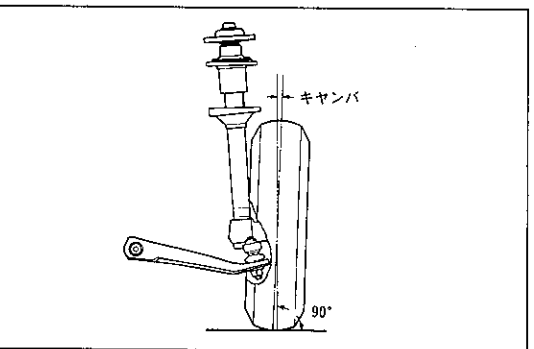
D 1357



F A 0272



C 8428



D 1247

## 2 ホイール切れ角調整

- (1) ロック ナットをゆるめる。
- (2) ブーツ クリップを取りはずす。

- (3) 図に示す距離 A, B を同じにする。

左右差 1 mm 以下

**注意** 左右のタイ ロッド 移動量は同一にする。

- (4) タイ ロッド エンド ナットを締め付ける。

T=570kg-cm

- (5) ブーツを据え付けクリップでとめる。

**注意** ブーツがねじれていないか確認する。

- (6) ホイール切れ角を調整する。

① ナックル ストツバ カバーを取りはずす。

② ナックル ストツバ ボルトを調整して、ホイール切れ角を調整する。

T=350kg-cm

③ ナックル ストツバ カバーを取り付ける。

## 3 キャンバ、キヤスタ、キングピン アングル点検および調整

- (1) ホイール アライメント測定器具を取り付ける。

① ターニング ラジウス ゲージを 0° 点にしロック後、車面を乗り入れる。

② ホイール キヤツプを取りはずす。

③ コッタ ピン、アジャステイング ロック キヤツプを取りはずし、30mmのソケット レンチを使用してアクスル ハブ セット ナットを取りはずす。

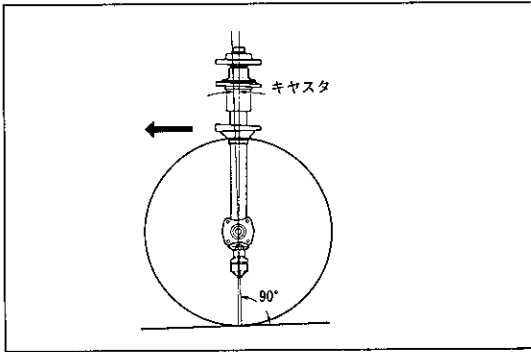
④ ゲージ アタッチメントを手でいっぱい締め込む。

⑤ ゲージのセンタ ロッド先端をスピンドル部中心に合わせ、ゲージ アタッチメントに取り付ける。

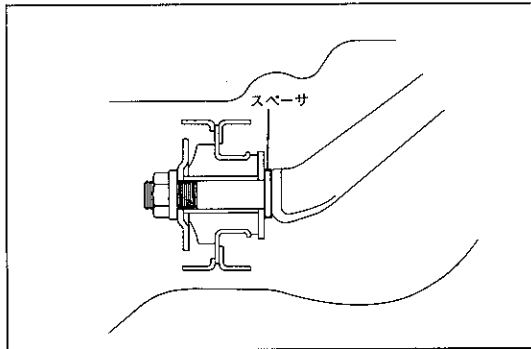
- (2) キャンバを点検する。

点検基準値 0°25'±45'

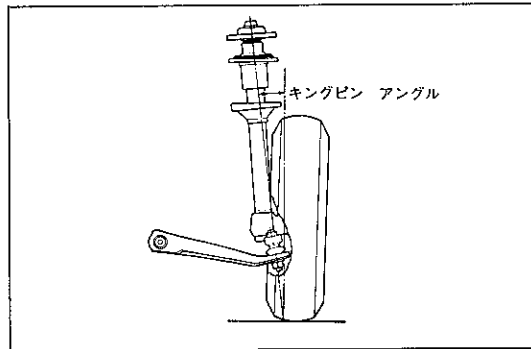
左右差限度 30'以内



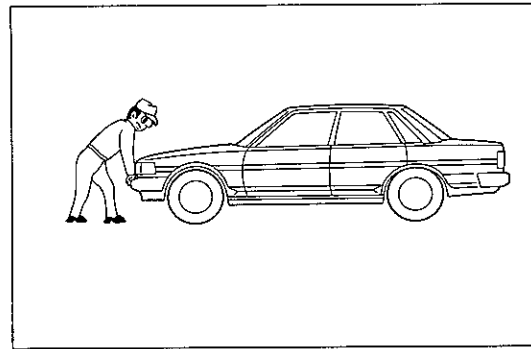
FA0286



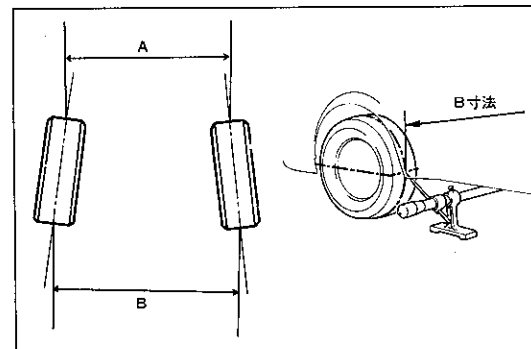
FA0439



D1248



D0673



A9873 D1358

(3) キヤスタを点検する。

点検基準値 P / S なし  $2^{\circ}40' \pm 45'$

P / S 付き  $4^{\circ}40' \pm 45'$

左右差限度 30'

(4) キヤスタを調整する。

① スペーサを増減して、キヤスタを調整する。

**注意** ・スペーサは2枚以上使用しない。

・数値が大きく違っている場合はストラットバーの変形および取り付け状態を点検する。

〈参考〉 スペーサ1枚でキヤスタは約30'変化する。

(5) キングピン アングルを点検する。

点検基準値  $10^{\circ}35' \pm 45'$

(6) ゲージおよびゲージ アタッチメントを取りはずす。

(7) フロント アクスル ハブ プレロードを調整する。

(S 6-10参照)

(8) ホイール キャップを取り付ける。

#### 4 トーイン点検

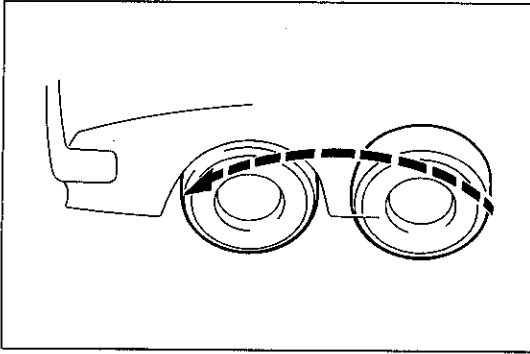
(1) 車両をゆすり、車高を安定させる。

(3) 車両を直進で5 m手押しして前進させる。

**注意** 後退させた時は必ず後退した距離分前進させる。

(4) トーイン ゲージの指針高さを必ずフロント ホイール軸中心高さに合わせ、タイヤの後側に入れる。

(5) 前輪タイヤ各々の後部にトレッド センタを印し、マーク間の距離 (B 寸法) を測定する。



D0031

(6) 車両をゆつくり押して前進させ、前輪を180°回転させる。

**注意** 180°以上回転させないように行い、オーバ回転した場合は、(3)よりやりなおす。

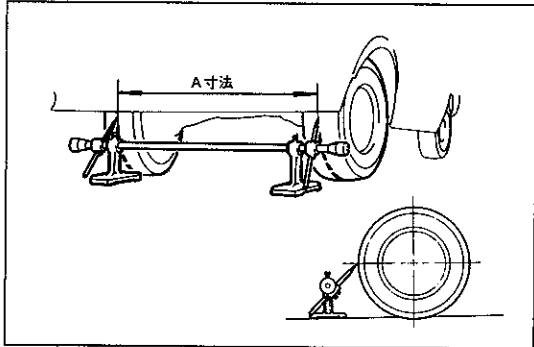
(7) 車両前部でマーク間の距離 (A寸法) を測定する。

(8) トーインを求める。

点検基準値 ラジアル  $2 \pm 1 \text{ mm}$

バイアス  $3 \pm 1 \text{ mm}$

トーイン = B寸法 - A寸法

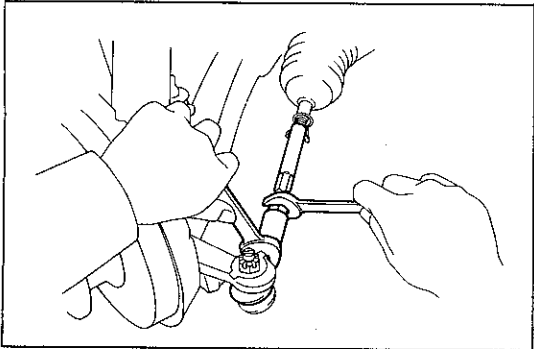


D1359

## 5 トーイン調整

(1) ロック ナットをゆるめる。

(2) ブーツ クリップを取りはずす。



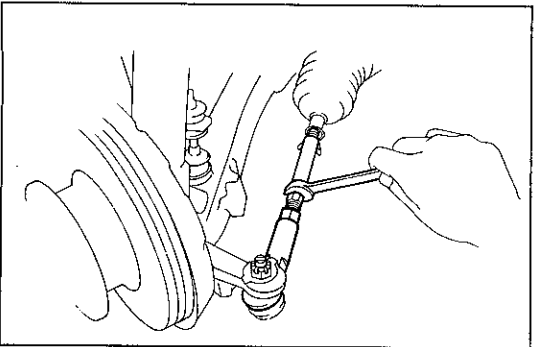
F A 0275

(3) 左右のラック エンドを各々反対方向に同量ずつ回して行う。

調整基準値 ラジアル  $2 \pm 1 \text{ mm}$

バイアス  $3 \pm 1 \text{ mm}$

S S T 09646-12011



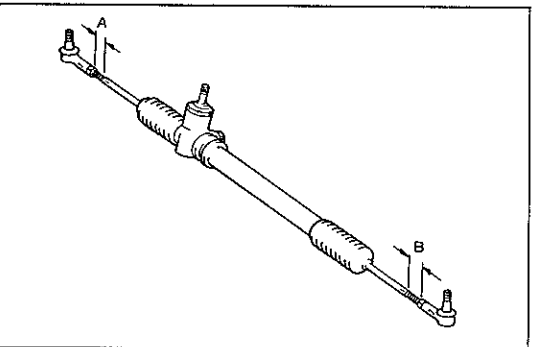
F A 0276

(4) 図に示す距離 A, B を同じにする。

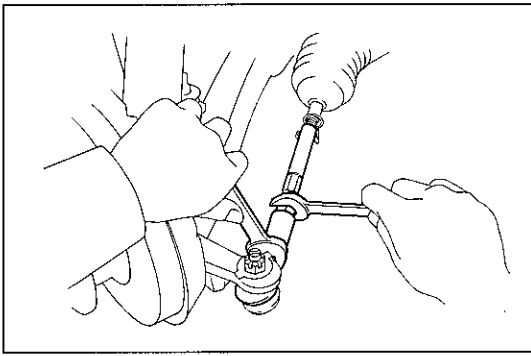
左右差 1 mm以下

**注意** ・左右のタイ ロッド移動量は同一にする。(移動量を同一にしないとトーインに変化が生じる。)

・距離 A, B の長さをそろえないとホイール切れ角に左右差が生じる。



D1357



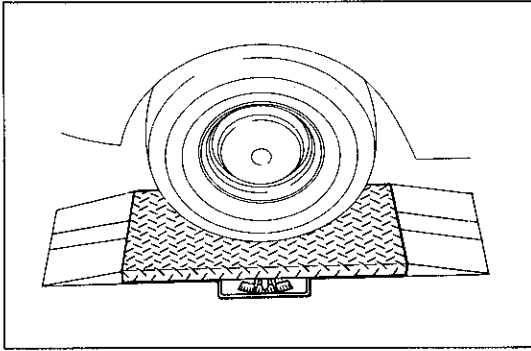
FA0275

(5) タイ ロッド エンド ナットを締め付ける。

T=570kg-cm

(6) ブーツを据え付けクリップでとめる。

**注意** ブーツがねじれていないか確認する。



B4473

### 6 サイド スリップ点検

(1) サイド スリップ テスタでサイド スリップを点検する。

基準値 0~3mm (1mにつき)

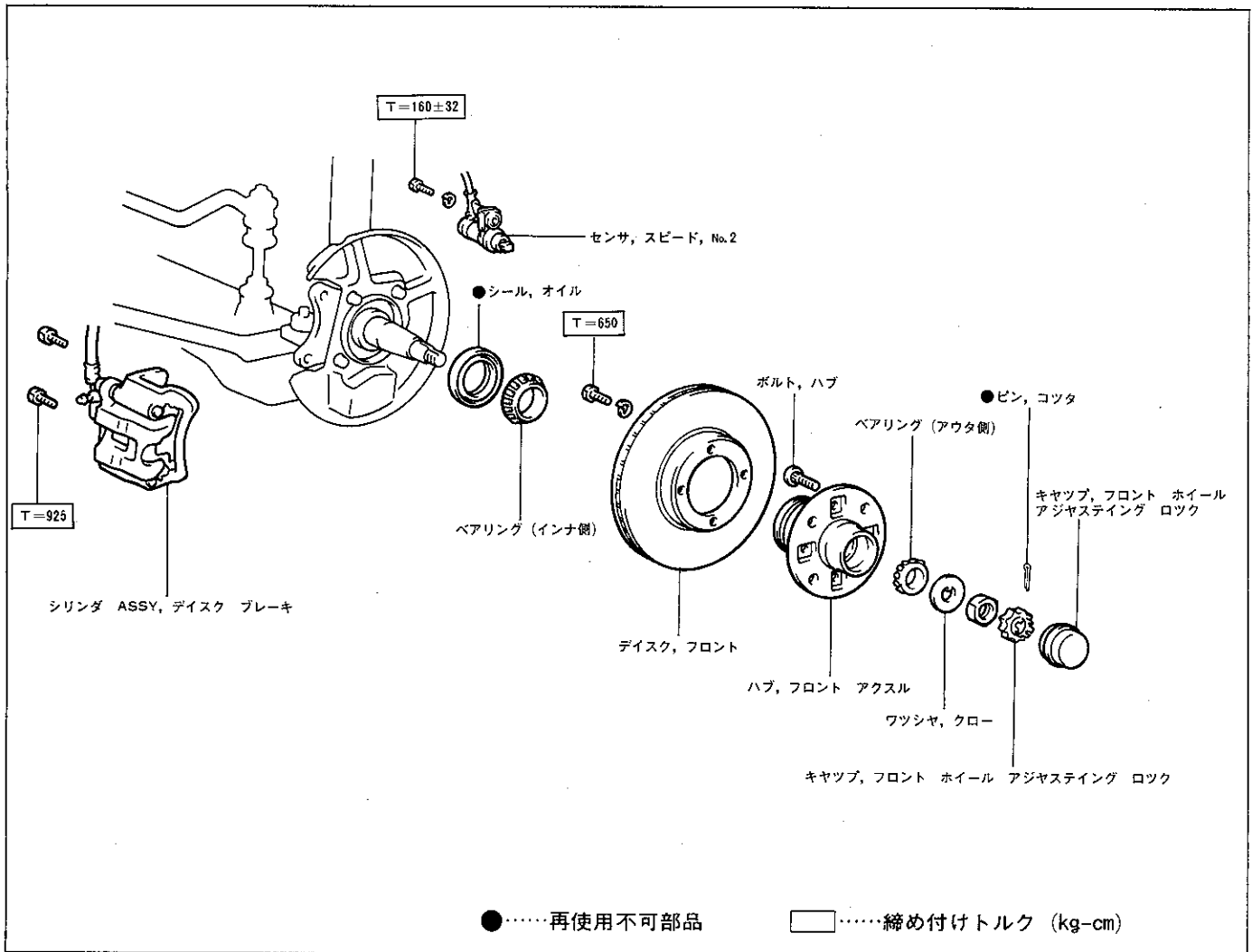
基準値外の場合はフロント ホイール アライメントが正しいかどうか点検する。

## フロント アクスル ハブ

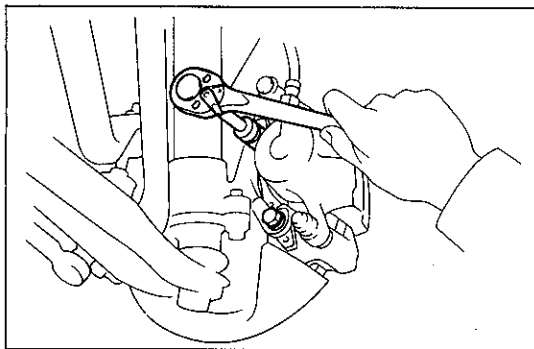
### 準備品

SST		09608-30021	リプレーサ セット, フロント ハブ ベアリング	
		09608-05010	ハンドル	ベアリング アウタ レースおよびオイル シール脱着用
		09608-05020	リムーバ	ベアリング アウタ レース取りはずし用
		09608-05030	リムーバ	ベアリング アウタ レース取りはずし用
		09608-05040	リプレーサ	ベアリング アウタ レース取り付け用
		09550-00050	リプレーサ	ベアリング アウタ レースおよびオイル シール取り付け用
工具		(株)バンザイ 扱い TB-701	プラー, ハブ グリース キャップ	フロント ハブ グリース キャップ脱着用
計器	バネばかり, ダイヤル ゲージ			ベアリング プレロード調整用
油脂 その他	探傷剤, 磁気探傷器			ナックル部き裂点検用

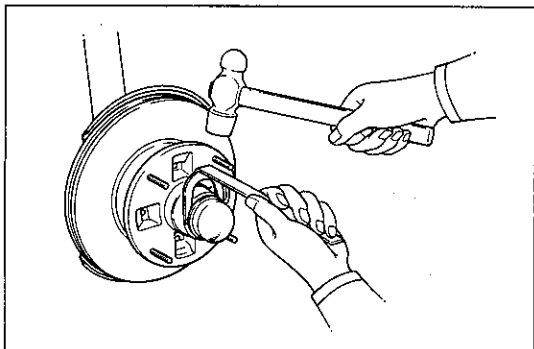
## 構成図



D1360



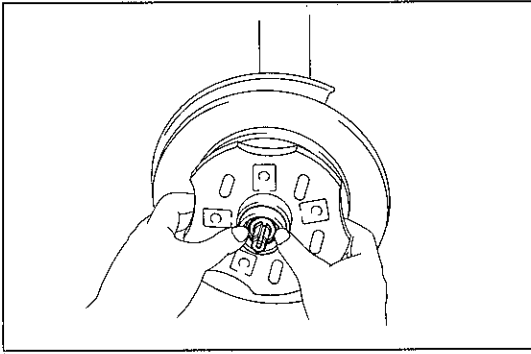
F A 0278



Z 5143

## フロント アクスル ハブ取りはずし

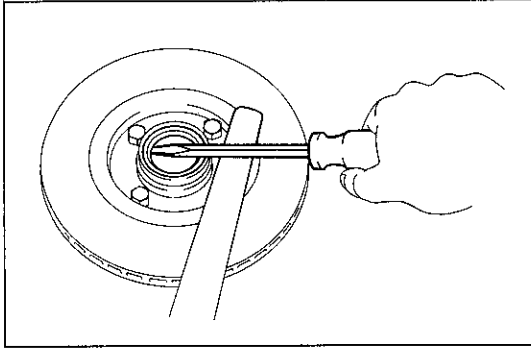
- 1 フロント ホイール取りはずし
- 2 ディスク ブレーキ シリンダ ASSY取りはずし
  - (1) シリンダ取り付けボルト 2本を取りはずし, シリンダ ASSYを取りはずす。
  - (2) シリンダ ASSYをひもでつるしておく。  
**注意** ブレーキ ホースを切り離さない。
- 3 アクスル ハブ ウィズ ディスク取りはずし
  - (1) ハブ グリース キャップ プラーを使用して, フロント ハブ グリース キャップを取りはずす。



B 8599

- (2) コッタ ピンを取りはずし、フロント ホイール アジャステイング ロック キャップを取りはずす。
- (3) 30mmのソケット レンチを使用して、ナットをはずしクローワツシヤを取りはずす。
- (4) アクスル ハブ ウィズ ディスクとともにベアリング (アウト側) を取りはずす。

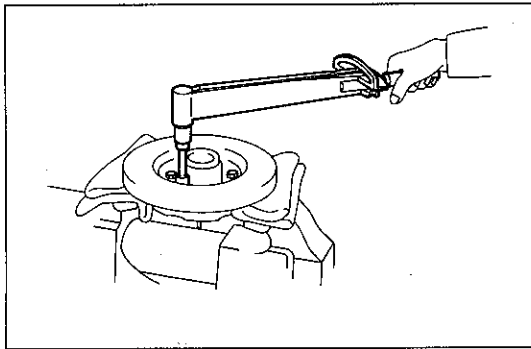
**注意** ベアリングを落とさないようにする。



F A 0288

4 インナ ベアリングおよびオイル シール取りはずし

- (1) ⊖ドライバなどを使用して、オイル シールを抜き取る。
- (2) ベアリング (インナ側) をディスクから取りはずす。



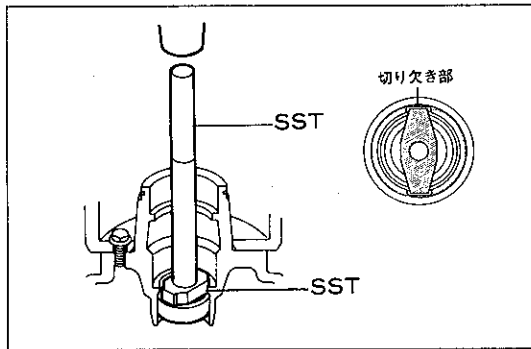
B 7989

フロント アクスル ハブ点検

1 フロント アクスル ハブ交換

- (1) ウエスを介して、アクスル ハブをバイスに固定してボルト 4本をはずしフロント ディスクを取りはずす。
- (2) ウエスを介して、アクスル ハブをバイスに固定してフロント ディスクをセットしてボルト 4本で締め付ける。

T=650kg-cm



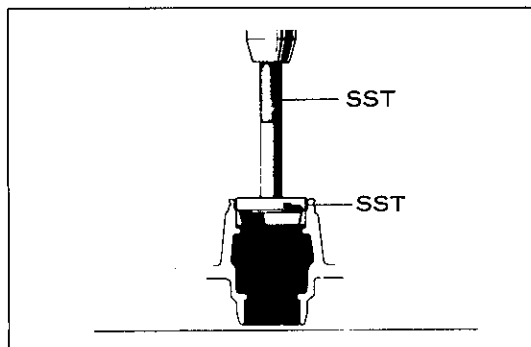
B 8603

2 ベアリング アウタ レース交換

- (1) S S Tを使用して、ハブの切り欠き部に当てベアリング アウタ レースを取りはずす。

S S T	インナ側	09608-05010	09608-05030
	アウタ側	09608-05010	09608-05020

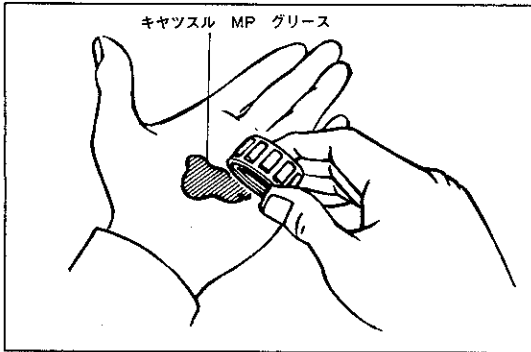
**注意** ベアリング交換時以外は取りはずさない。



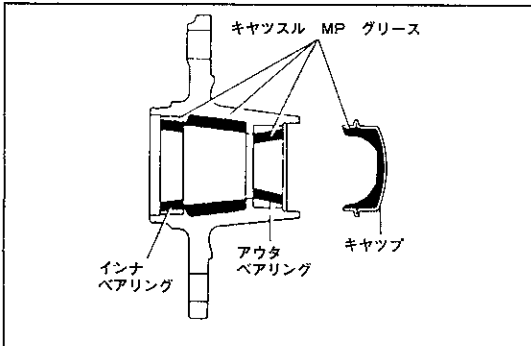
B 5486

- (2) S S Tを使用して、新品のベアリング アウタ レースを取り付ける。

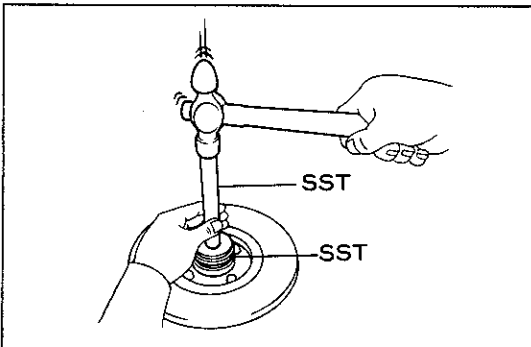
S S T	インナ側	09608-05010	09550-00050
	アウタ側	09608-05010	09608-05040



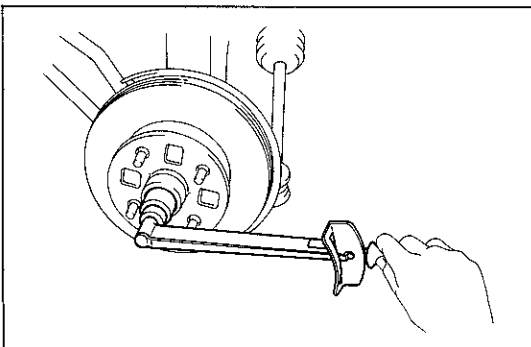
B 8604



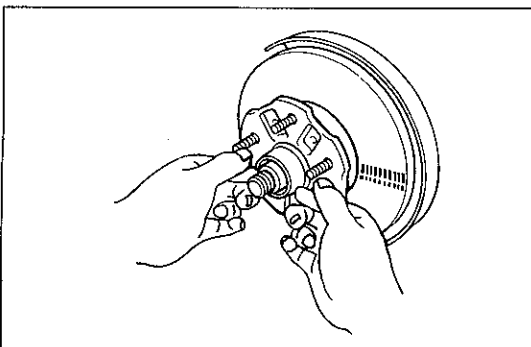
B 5487



B 5488



F A 0279



B 8606

## フロント アクスル ハブ取り付け

### 1 グリース充てん

(1) ベアリングにキャツスル MP グリース No.1 を封入する。

(2) アクスル ハブとグリース キャップの図の箇所キャツスル MP グリース No.2 を封入する。

### 2 インナ ベアリングおよびオイル シール取り付け

(1) ベアリング (インナ側) をアクスル ハブに入れ、SSTを使用して新品のオイル シールを取り付ける。

SST 09608-05010 09550-00050

**注意** リップ部にキャツスル MP グリース No.2 を塗布する。

### 3 アクスル ハブ ウィズ ディスク取り付け

(1) ナックル スピンドルにアクスル ハブ ウィズ ディスクを取り付ける。

**注意** スピンドル部を清掃し、キャツスル MP グリース No.2 をうすく塗布する。

(2) ベアリング (アウト側) とクロー ワッシャを取り付ける。

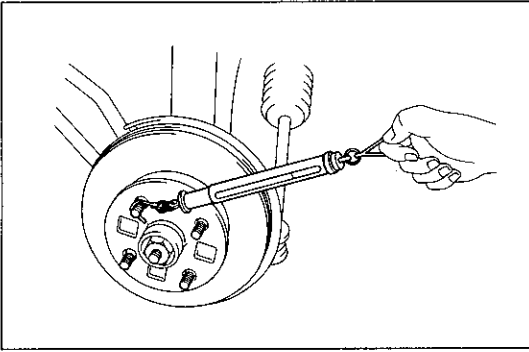
(3) ホイール アジャスティング ナットを取り付ける。

### 4 プレロード調整

(1) 30mmのソケット レンチを使用して、ナットを締め付ける。

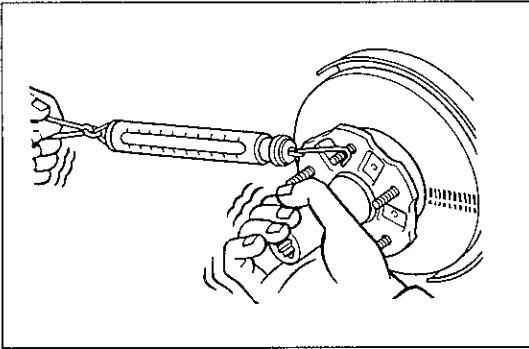
T=300kg-cm

(2) ハブを2~3回往復回転させてベアリングの落ち着きを確認する。



F A 0280

- (3) ナットを指で回る程度までゆるめる。
- (4) オイル シールの回転トルクを測定する。  
この値を A kg とする。

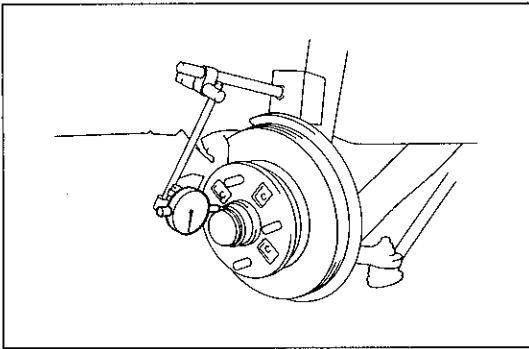


B 8609

- (5) 回転トルクが基準値内になるように、ナットに30mmのソケットレンチをはめて手で締め付ける。

基準値 A + 350 ~ 875g (オイル シールのプレロードを加えた値)

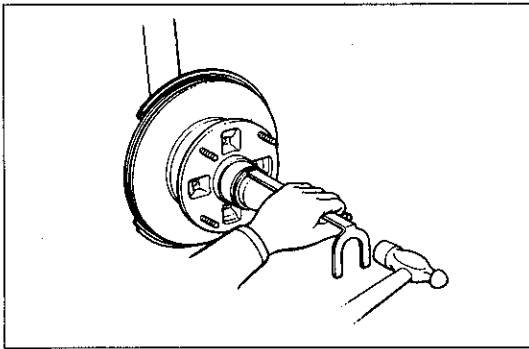
- (6) ハブがスムーズに回転することを確認する。



F A 0356

- (7) ハブ軸方向のガタを測定する。

限度 0.05mm 以内



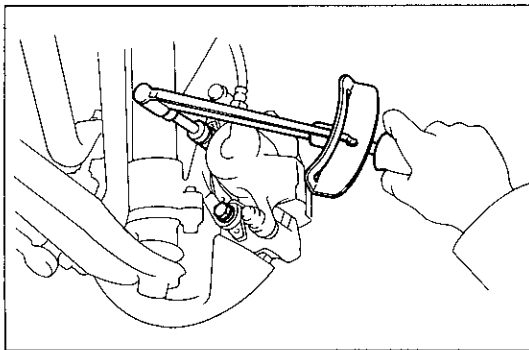
Z 7792

5 アジャステイング ロック キャップおよびコッタ ピン取り付け

- (1) アジャステイング ロック キャップおよび新品のコッタ ピンを取り付ける。

6 フロント ハブ グリース キャップ取り付け

- (1) ハブ グリース キャップ プラーを使用して、キャップを取り付ける。



F A 0281

7 ディスク ブレーキ シリンダ ASSY 取り付け



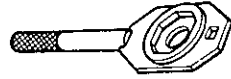
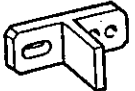
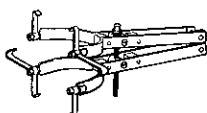
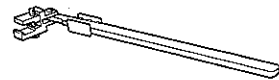
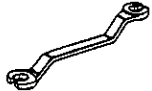
- (1) シリンダ ASSY を据え付け、取り付けボルト 2 本で締め付ける。

T = 925kg-cm

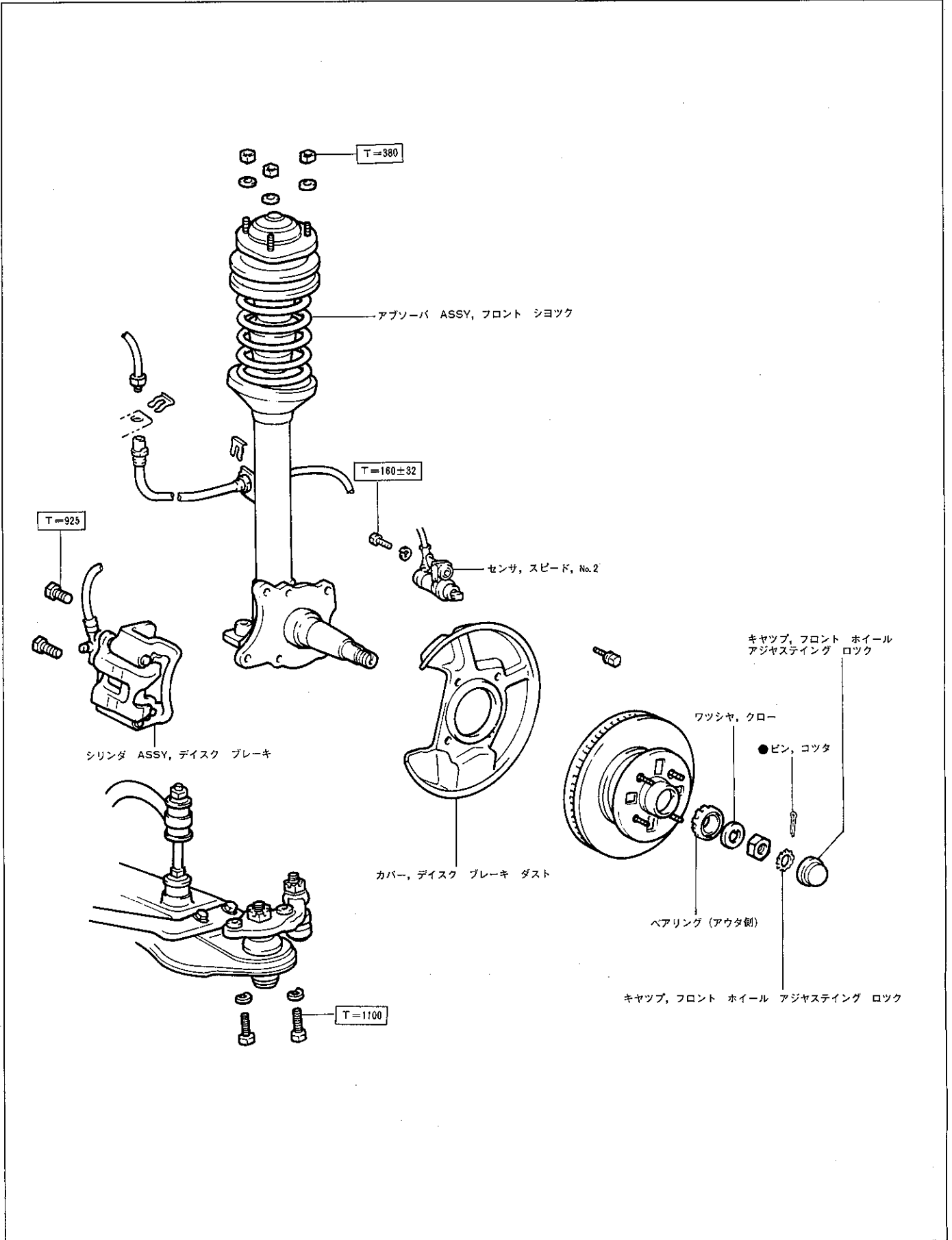
8 フロント ホイール取り付け

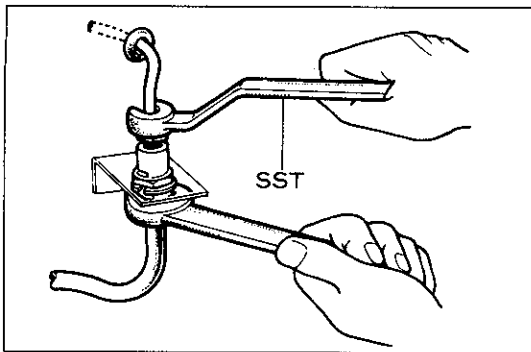
# フロント ショック アブソーバ

## 準備品

SST		09720-00011 ツール セット ショック アブソーバ オーバーホール	
		09721-00030 リプレーサ, フロント ショ ック アブソーバ オイル シール	オイル シール取り付け用
		09721-00071 レンチ, フロント ショック アブソーバ リング ナット	リング ナット脱着用
		09721-00080 スタンド, フロント ショック アブソーバ	ショック アブソーバ固定用
SST		09727-22032 コンプレッサ, フロント コ イル スプリング	コイル スプリング圧縮用
		09729-22031 ホルダ, フロント スプリング アツバ シート	セルフ ロック ナット脱着用
		09751-36011 レンチ, ブレーキ チューブ ユニオン ナット	ブレーキ チューブ切り離し用
工 具	V ブロツク		ピストン ロッドおよびシリンダ振れ測定用
	プラスパー (長さ450mm程度)		ベース バルブ取りはずし用
計 器	ダイヤル ゲージ		ピストン ロッドおよびシリンダ振れ測定用
	メス シリンダ (0.5ℓ)		キャツスル ショック アブソーバ フルード 注入量測定用
	シリンダ ゲージ		ピストン シリンダ内径測定用 ロッド ガイド内径測定用
	トルク レンチ (300~1900kg-cm)		ショック アブソーバ ローワー ブラケットと ステアリング ナックル締め付け用
油 脂 その他	キャツスル ショック アブソーバ フルード		シエル内部への注入用
	キャツスル シヤシ グリース スペシャル		ボール ジョイント注入用

構成図 (脱着)



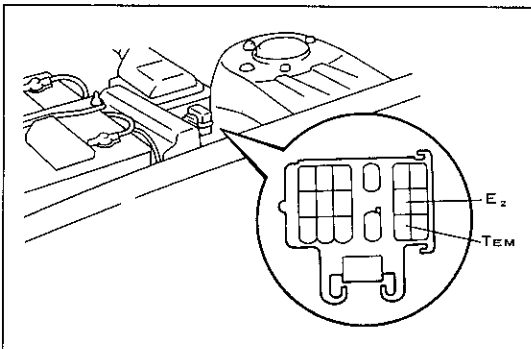


BR0287

## フロント ショック アブソーバ取りはずし

### 1 ブレーキ チューブ切り離し

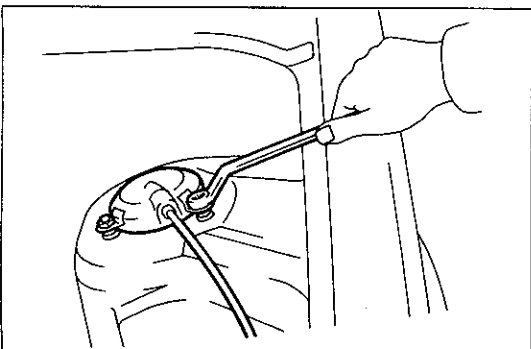
- (1) クリップを取りはずす。
- (2) SSTを使用して、ブレーキ チューブを切り離す。  
SST 09751-36011



D1229

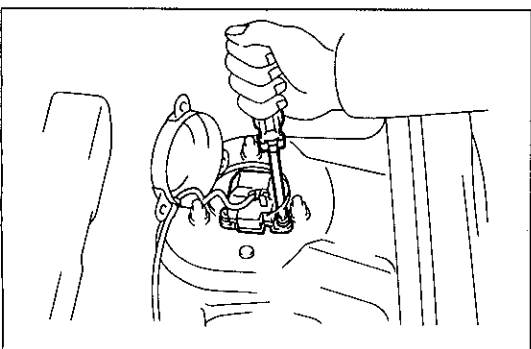
### 2 アブソーバ コントロール アクチュエータ取りはずし (TEMS付き車)

- (1) チェック コネクタの  $T_{EM} \leftrightarrow E_2$  端子を短絡する。
- (2) IG スイッチをONにする。
- (3) アブソーバ コントロール S/Wをスポーツ オートに切り替えて、アブソーバをハードに固定する。
- (4) IG スイッチをOFFにしチェック コネクタを開放する。



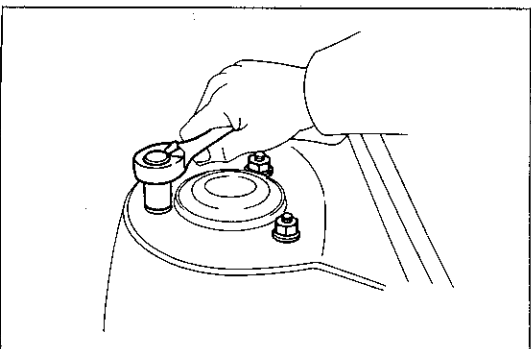
D1512

- (5) アクチュエータのコネクタを切り離し、アクチュエータのカバー ナット3個を取りはずす。



D1511

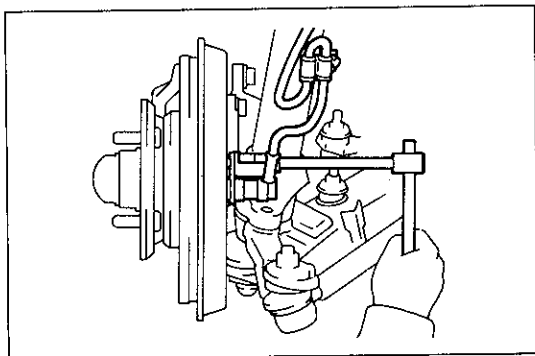
- (6) ビス2本をはずしアクチュエータを取りはずす。



FA0283

### 3 アツパ サポート切り離し

- (1) サスペンション サポート取り付けナット3個を取りはずす。

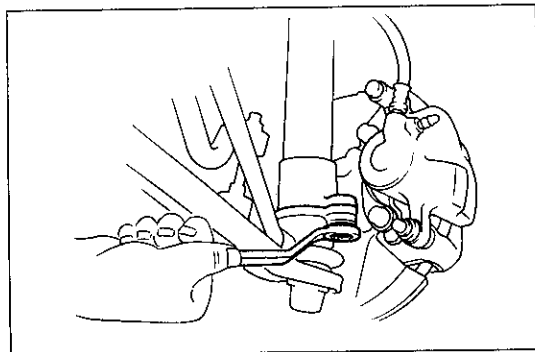


D1363

4 車速センサ切り離し

(ESC付き車)

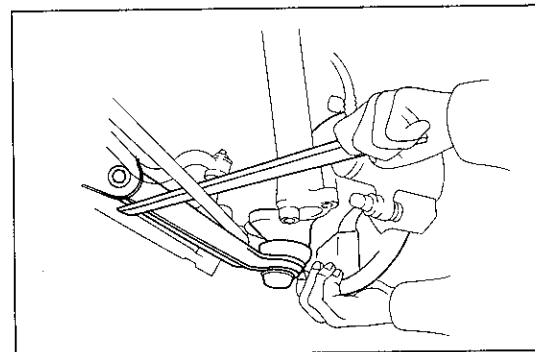
- (1) W/H クランプをショック アブソーバから取りはずす。
- (2) ボルトをはずし、車速センサを取りはずす。



B5498

5 ショック アブソーバ ASSY取りはずし

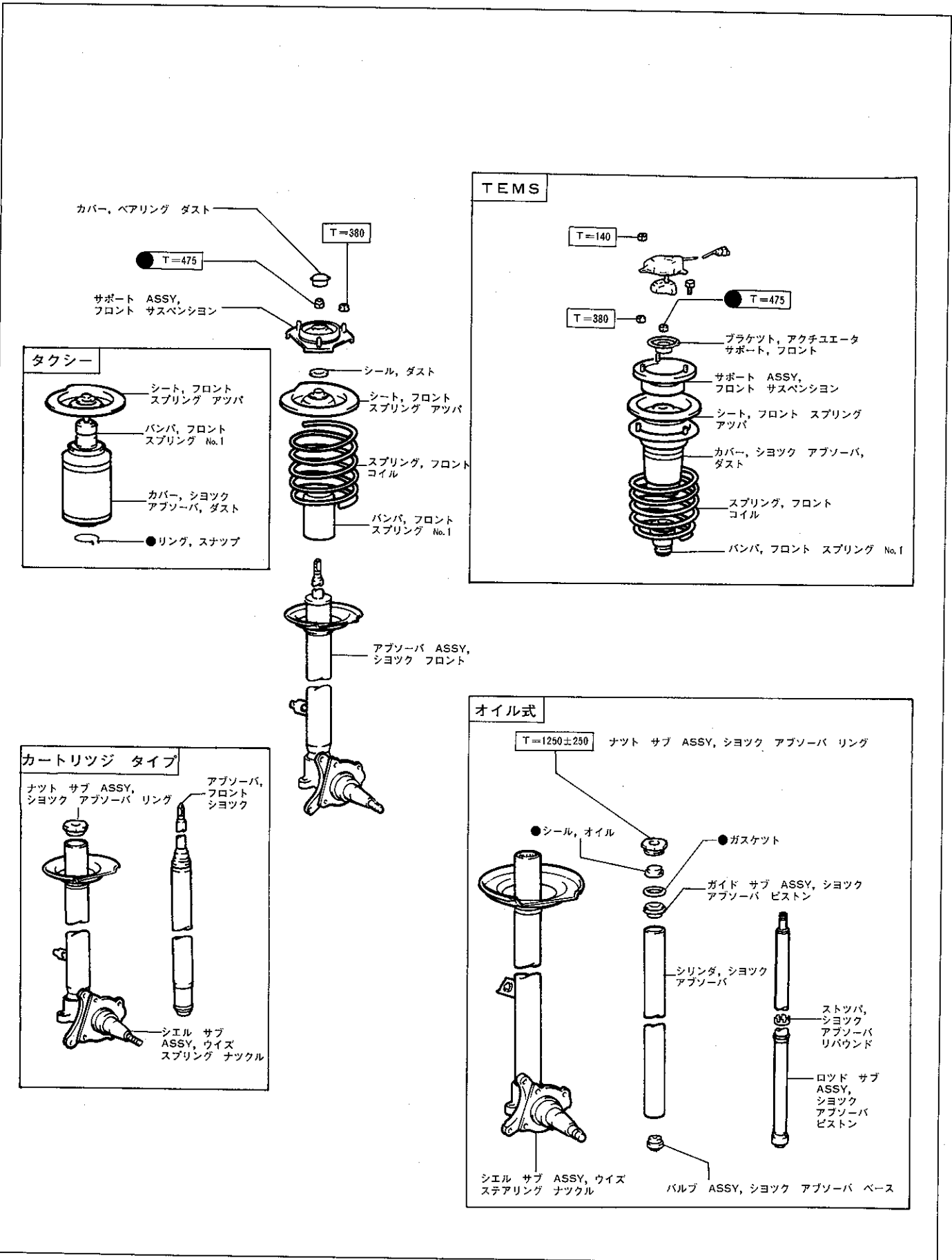
- (1) アブソーバ シエル部のボルト2本をボール ジョイントから取りはずす。



B5499

- (2) ローアームを下げフロント ショック アブソーバ ASSYを取りはずす。

構成図

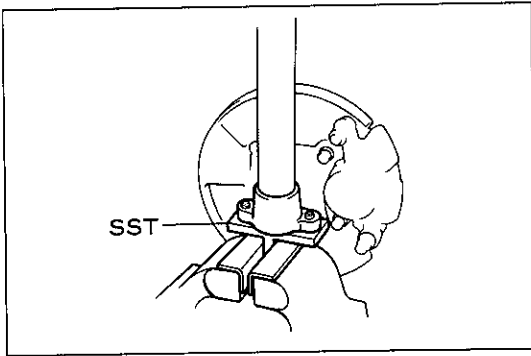


## ショック アブソーバ分解

### 1 ショック アブソーバ固定

- (1) SSTを使用して、フロント ショック アブソーバをバイスに固定する。

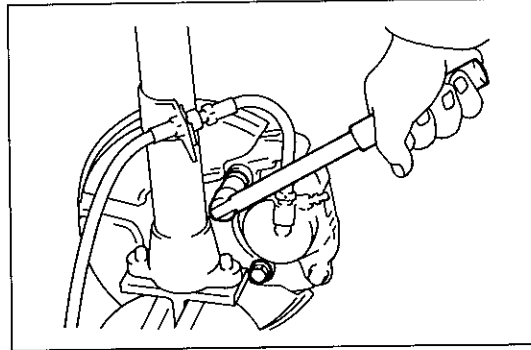
SST 09721-00080



B5500

### 2 ブレーキ シリンダ ASSY取りはずし

- (1) フレキシブル ホースのクリップをショック アブソーバから取りはずす。
- (2) ボルト 2本をはずし、ブレーキ シリンダ ASSYを取りはずす。



D1361

### 3 フロント アクスル ハブ ウィズ ディスク取りはずし

(S 6-8 参照)

### 4 バツキング プレート取りはずし

### 5 コイル スプリング取りはずし

#### TEMSなし車

- (1) SSTを使用して、コイル スプリングを圧縮する。

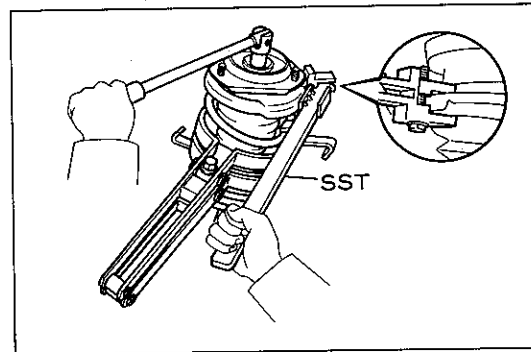
SST 09727-22032

**注意** SSTのツメは短い方を使用する。

- (2) ベアリング ダスト カバーを取りはずす。
- (3) SSTを使用して、アツパ シートとスプリングをはさみ込んで保持し、ナットを取りはずす。

SST 09729-22031

- (4) サスペンション サポート、ダスト シール、スプリング アツパ シートおよびスプリングを取りはずす。
- (5) クリップをはずしダスト カバーを取りはずす。(タクシー車)



D2037

#### TEMS付き車

- (1) SSTを使用して、コイル スプリングを圧縮する。

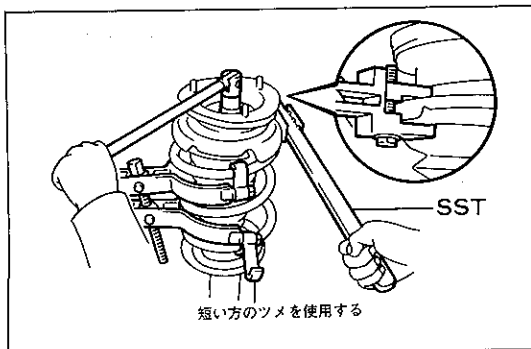
SST 09727-22032

**注意** SSTのツメは短い方を使用する。

- (2) SSTを使用して、アツパ シートとスプリングをはさみ込んで保持し、ナットを取りはずす。

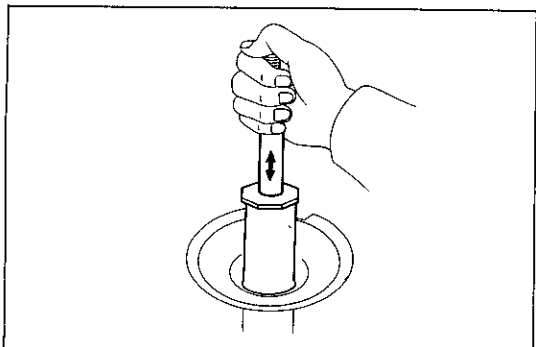
SST 09729-22031

- (3) アクチュエータ サポート ブラケット、サスペンション サポート、スプリング アツパ シート、ダスト カバー、スプリングおよびスプリング バンパ No.1を取りはずす。



短い方のツメを使用する

D1502



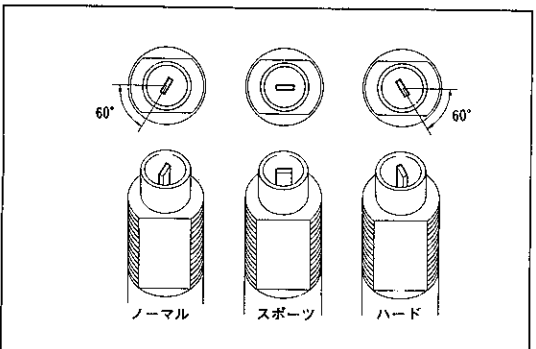
B 4513

6 ショック アブソーバ点検

- (1) ショック アブソーバを圧縮させて点検する。  
 基準 全ストロークの重さが一定であり異常な手ごたえ、異常音がない。
- (2) ショック アブソーバ上側のロッドがプライヤで容易に回転することを点検する。(TEMS付き車)  
 (参考) ロッドに100mmの棒を取り付けたとき、棒の先端が20g以下(起動トルク)で回転する。
- (3) ロッドを図に示す位置にしたとき減衰力に差があることを点検する。(TEMS付き車)

(参考) 減衰力

減衰力 [0.3m/sec]		ポジション		
		ノーマル	スポーツ	ハード
伸	び 側 (kg)	55	90	120
縮	み 側 (kg)	26	42	55

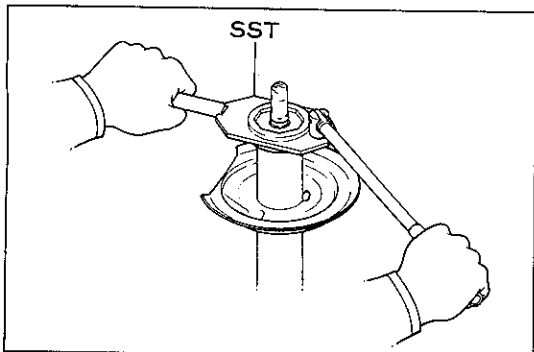


F A 0340

7 リング ナット取りはずし

SST 09721-00071

**注意** タクシー車以外の(ガス封入式)ショック アブソーバは廃却のとき以外、リング ナットをはずさない。



Z 7969

8 ガasket (ロッド ガイド用) 取りはずし

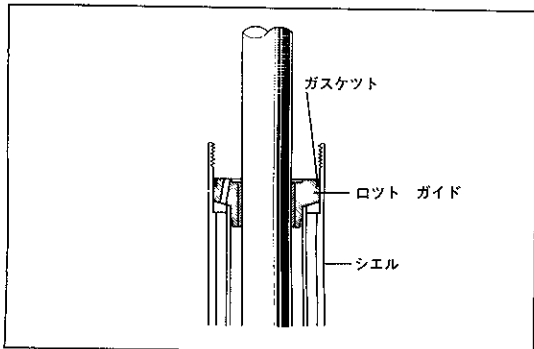
- (1) ⊖薄刃ドライバを使用して、取りはずす。

9 ピストン ロッド (ロッド ガイド付き) 取りはずし

- (1) フルードをこぼさないように静かに抜き出す。

10 シリンダ取りはずし

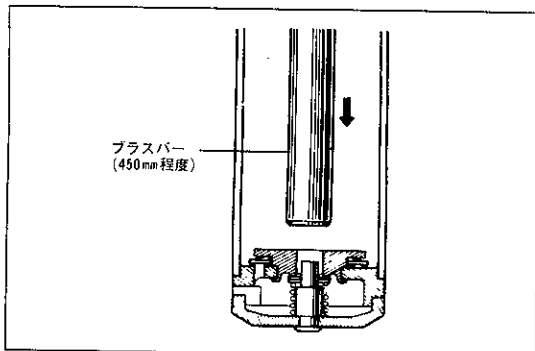
- (1) シリンダ内のフルードをシエル内にもらすようにして取りはずす。



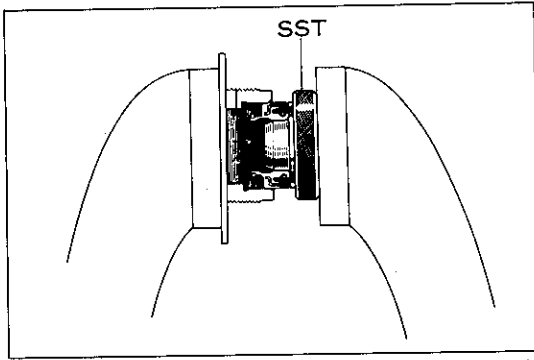
Z 5989

11 ベース バルブ取りはずし

- (1) プラスパーを使用して、取りはずす。



Z 2398

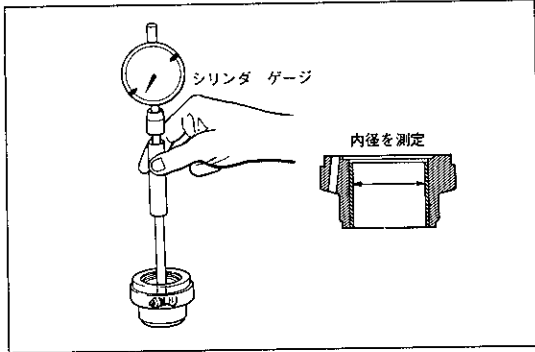


Z 5987

### 構成部品の点検, 交換

#### 1 リング ナットのオイル シール交換

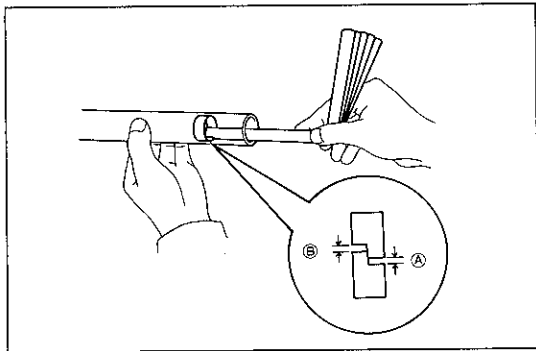
- (1) ⊖ドライバを使用して, 取りはずす。
  - (2) 新品のオイル シール取り付け前にオイル シール リップ部にキヤツスル MP グリース No.2を塗布する。
  - (3) SSTとバイスを使用して, オイル シールを圧入する。
- SST 09721-00030



Z 7970

#### 2 ロッド ガイドの摩耗点検

- (1) シリンダ ゲージを使用して, 内径を測定する。
- 限度 22.35mm



C 8127

#### 3 ピストン ロッド点検

- (1) ピストン リングの摩耗を点検する。

- ① ピストン リングをロッド ガイドから取りはずしてシリンダ内にそう入し, ピストン リングの合い口すき間①をシツクネス ゲージで測定する。

限度 0.5mm

- ② ピストン リングの上下を変えてもう一方の合い口すき間②を測定する。

限度 0.5mm

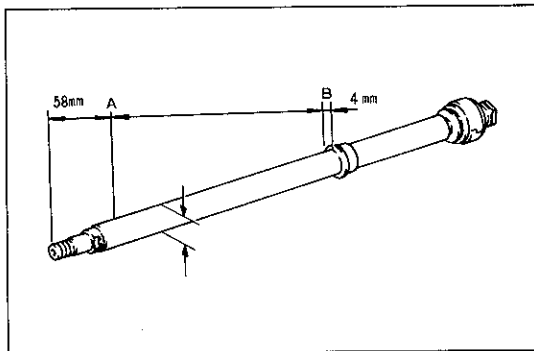
- (2) ロッドの摩耗, 傷および振れを点検する。

- ① ロッド外径をマイクロメータを使用して, 図に示すA~Bの間で測定する。

限度 21.90mm

- ② 傷の有無を点検する。

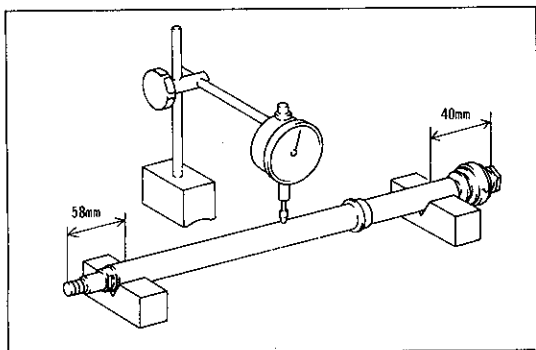
**注意** ロッド軸部A~B間にわずかな傷があつてもフルード漏れの原因となるので綿密に行う。



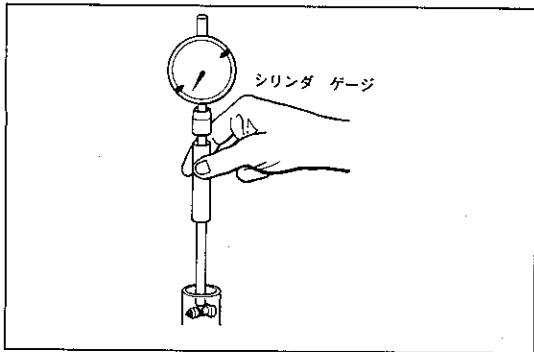
D 1230

- ③ 振れを測定する。

限度 0.10mm



Z 9564



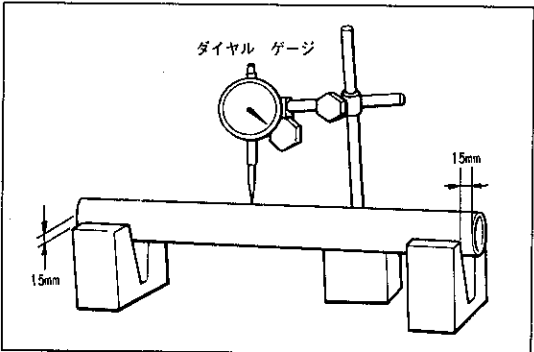
Z4974

#### 4 シリンダ点検

(1) 内径の摩耗および振れを点検する。

- ① 内径をマイクロメータとシリンダ ゲージを使用して、数箇所測定し最大内径を求める。

限度 32.23mm



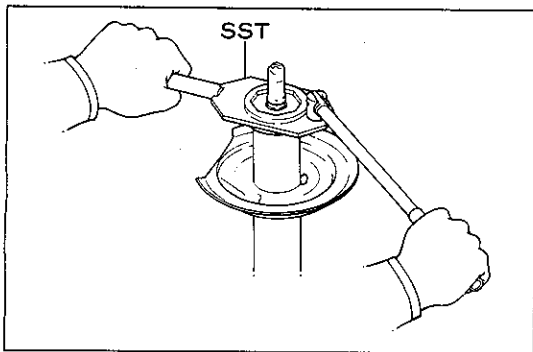
Z4975

- ② シリンダ中央部の振れを測定する。

限度 0.06mm

#### 5 ステアリング ナックル点検

- (1) 探傷剤または磁気探傷器を使用して、ナックル部のき裂を点検する。



Z7969

#### 6 ガス封入式ショック アブソーバ廃却

カートリッジ タイプ以外

- (1) ショック アブソーバをバイスに固定する。  
 (2) ガスが抜け始めるまでリング ナットをゆつくりゆるめる。  
 (約3～4回転)

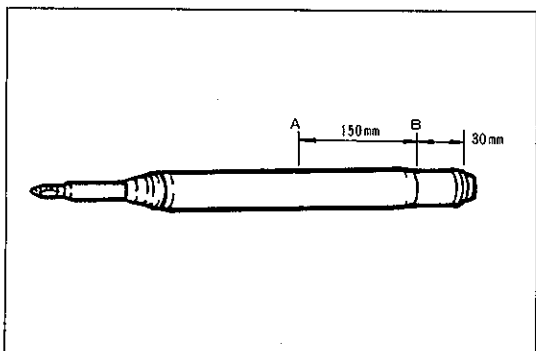
**注意** ガスの圧力によりオイルが出てくることがあるので注意してゆるめる。

- (3) ガスが完全に抜けたこと（ピストン ロッドが下がる）を確認してから廃却する。

カートリッジ タイプ

- (1) ピストン ロッドを伸ばした状態で水平に置き、図に示すA—B間にφ2～3mmの穴をあけてガスを抜く。

**注意** 抜け出すガスは無色、無臭、無害であるが、ドリルの切り粉などが飛び出すこともあるので注意して作業を行う。



D1485

7 コイル スプリング仕様点検

仕様

型式	項目		右		左	
	識別色	バネ定数 (kg/mm)	識別色	バネ定数 (kg/mm)	識別色	バネ定数 (kg/mm)
SX70系	青×1, クリーム×1	1.80	青×1, 桃×1	1.80		
GX71系 (グランデ, アバンテ (スーパーレセント以外))	青×1, 白×1	1.95	青×1, 黄×2	1.95		
GX71系 (グランデ, アバンテ, (スーパーレセント))	青×1, 黄×1	1.95	青×1, 白×1	1.95		
MX71系	青×1, 橙×1	2.10	青×1, 黄緑×2	2.10		
LX70系 (2L)	青×1, 橙×2	1.80	青×1, 黄緑×1	1.80		
LX70系 (2L-T)	青×1, 白×1	1.95	青×1, クリーム×2	1.95		
YX70系	青×1, 灰×1	1.65	青×1, 紫×1	1.65		

ショック アブソーバ組み付け

1 ベースバルブ取り付け

- (1) プラスティックハンマを使用して、ベースバルブをシリンダに打ち込む。

2 リバウンドストツパ取り付け

- (1) ピストンロッドにリバウンドストツパの波形を上にして組み付ける。

3 ピストンロッド取り付け

- (1) シリンダにピストンロッドをそう入する。  
**注意** ピストンリングを損傷させないようにそう入する。

4 シリンダ取り付け

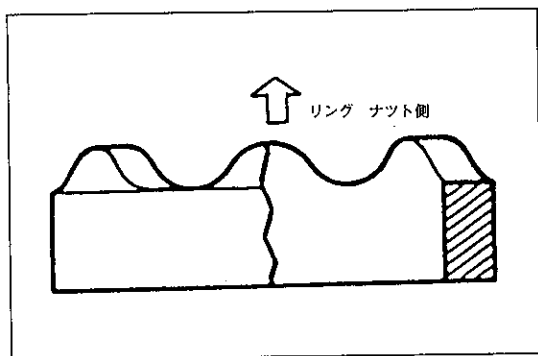
- (1) シリンダ (ピストンロッド付き) をシエルの中にそう入する。

5 ロッドガイドおよびガスケット取り付け

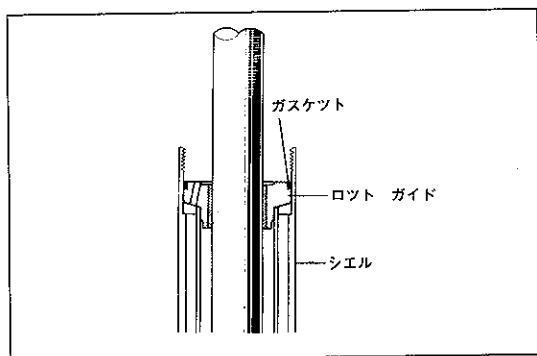
- (1) メスシリンダで規定量のキャブスルショックアブソーバフルードをシエル内部に注入する。  
 注入量 315cc
- (2) ロッドガイドをシエルに組み付け、新品のガスケットをロッドガイド上部周辺に取り付ける。

6 リングナット取り付け

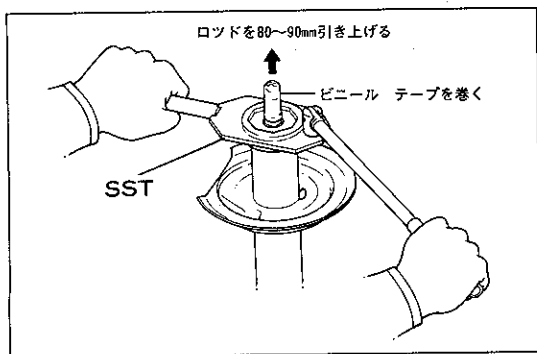
- (1) ロッドネジ部でオイルシールを傷付けないようロッド先端にテープを巻き、リングナットを取り付ける。
- (2) ピストンロッドをシエルから80~90mm引き上げSSTを使用して、その状態でリングナットを規定トルクで締め付ける。  
 SST 09721-00071  
 T=1250kg-cm



B5743



Z5989



Z7969

## 7 コイル スプリング取り付け

## TEMSなし車

- (1) ピストン ロッドにバンパを取り付ける。
- (2) ダスト カバーをショック アブソーバに取り付け、クリップで固定する。(タクシー車)
- (3) SSTを使用して、コイル スプリングを圧縮する。

SST 09727-22032

**注意** SSTのツメは短い方を使用する。

- (4) コイル スプリング エンドとローワー シートの溝に合わせて取り付け。
- (5) スプリング アツパ シート、ダスト シールおよびサスペンション サポートを取り付け、SSTを使用して、スプリング アツパ シートを固定し新品のナットを取り付ける。

SST 09729-22031

T=475kg-cm

- (6) ダスト カバーをスプリング アツパ シートに取り付ける。(タクシー車)
- (7) キヤツスル MP グリース No.2 をベアリング付近に塗布する。
- (8) ダスト カバーを取り付ける。

## TEMS付き車

- (1) バンパ外径の小さい方を下にして、ピストン ロッドに取り付ける。
- (2) SSTを使用して、コイル スプリングを圧縮する。

SST 09727-22032

**注意** SSTのツメは短い方を使用する。

- (3) ダスト カバーをスプリング アツパ シートに取り付ける。
- (4) コイル スプリング エンドをローワー シートの溝に合わせて取り付け。
- (5) ピストン ロッドの切り欠きとスプリング アツパ シート下面の溝を合わせるため、ピストン ロッドのネジ下側までくるように、アツパ シートを取り付ける。
- (6) サスペンション サポートおよびアクチュエータ サポートを取り付ける。

- (7) SSTを使用して、新品のナットを締め付ける。

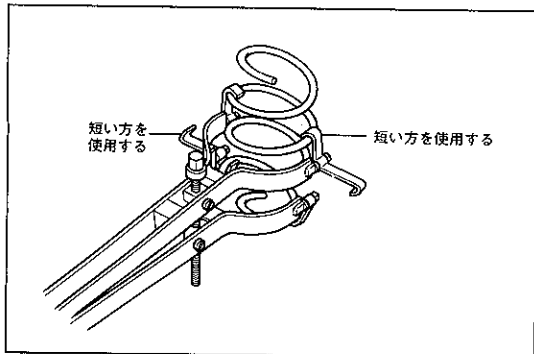
SST 09729-22031

T=475kg-cm

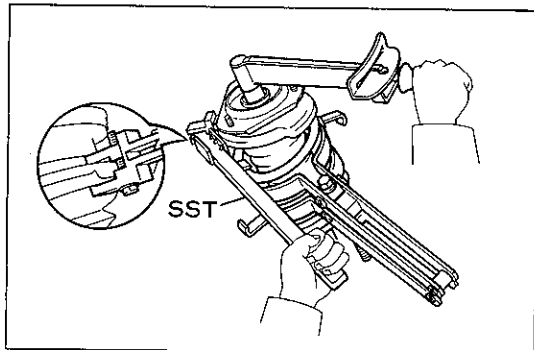
## 8 バツキング プレート取り付け

## 9 フロント アクスル ハブ取り付け

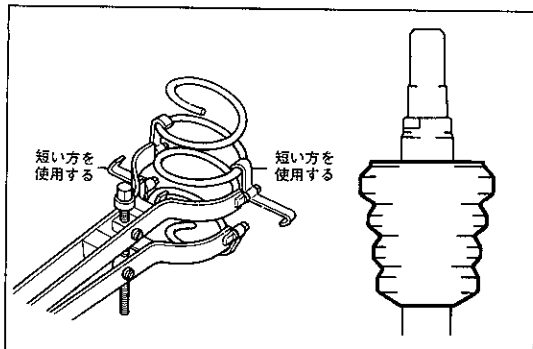
(S 6-10参照)



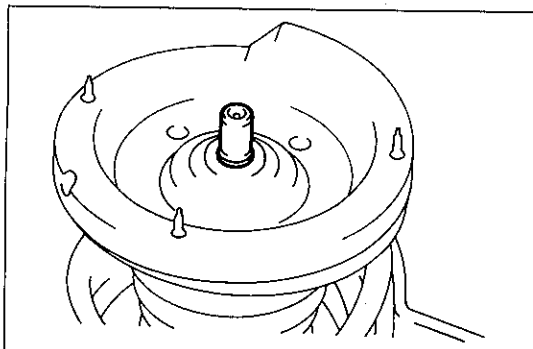
FA0316



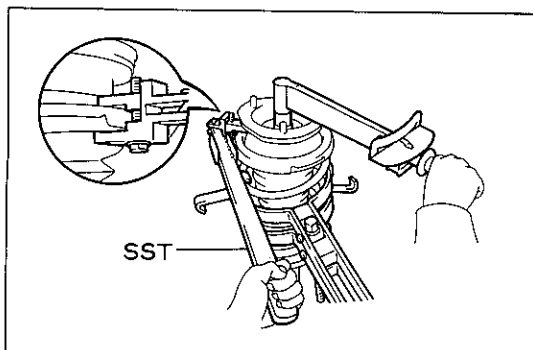
D2038



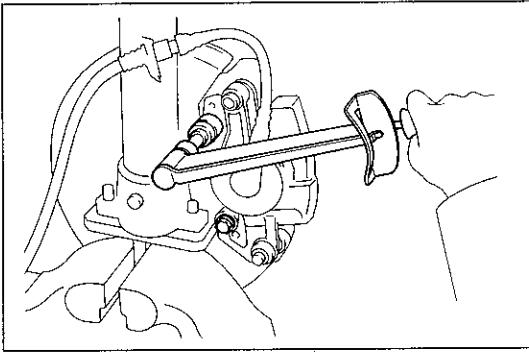
FA0316 D1362



D1513



D1501



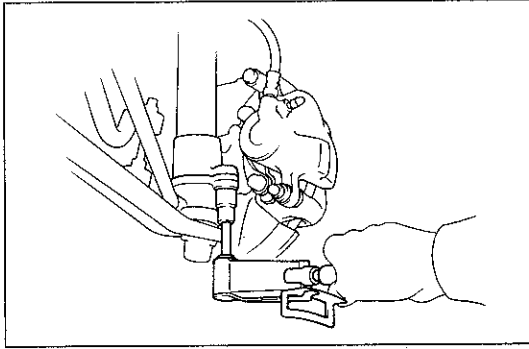
FA0338

### 10 ディスク ブレーキ シリンダ ASSY取り付け

- (1) フレキシブル ホースをアブソーバに通して、クリップを取り付ける。
- (2) シリンダ ASSYを据え付け、取り付けボルト2本で締め付ける。

T=925kg-cm

### 11 ショック アブソーバ固定用SST取りはずし



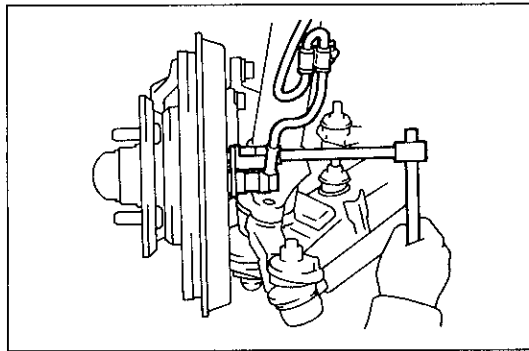
B5506

### ショック アブソーバ ASSY取り付け

#### 1 ロー アーム取り付け

- (1) ショック アブソーバ ASSYを据え付け、アブソーバ下部とロー アームを取り付ける。

T=1100kg-cm



D1363

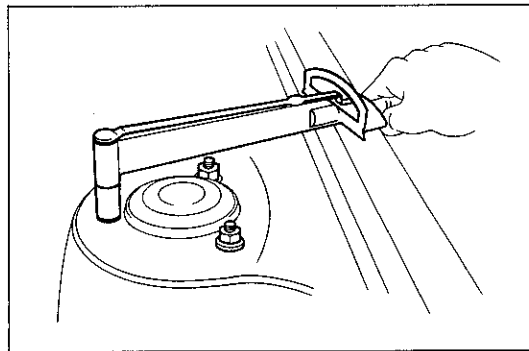
#### 2 車速センサ取り付け

(ESC付き車)

- (1) 車速センサをダスト カバーに取り付ける。

T=160±32kg-cm

- (2) W/H クランプを取り付ける。

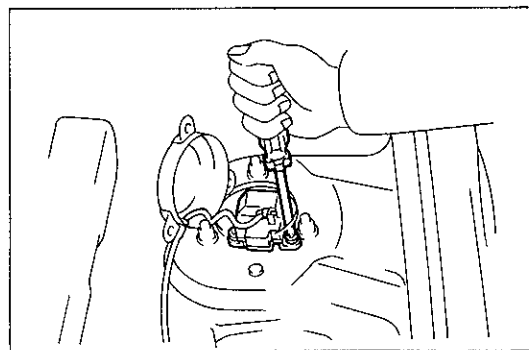


FA0293

#### 3 アツパ サポート取り付け

- (1) サスペンション サポート ナット3個を取り付ける。

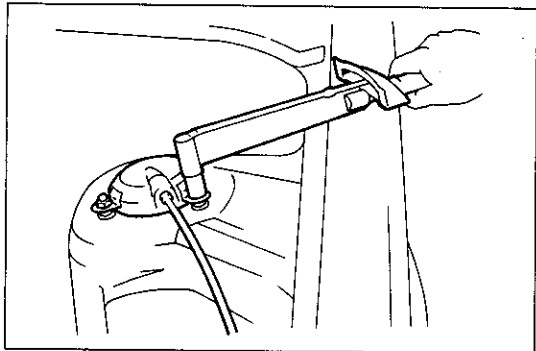
T=380kg-cm



D1511

#### 4 アブソーバ コントロール アクチュエータ取り付け

- (1) アクチュエータのW/Hをフロント側に向けて取り付ける。

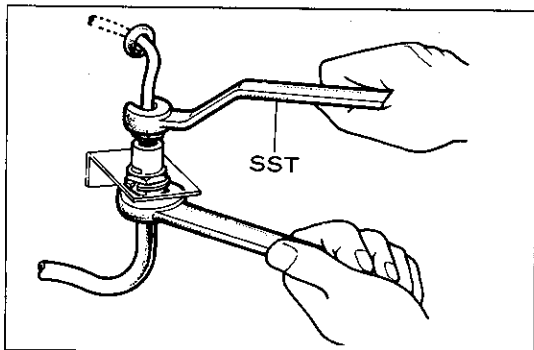


D1514

(2) アクチュエータ カバーをナット 3 個で取り付ける。

T=140kg-cm

(3) コネクタを取り付ける。



BR0287

## 5 ブレーキ チューブ接続

(1) S S Tを使用して、ブレーキ チューブを接続する。

S S T 09751-36011

(2) クリップを取り付ける。

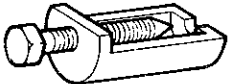
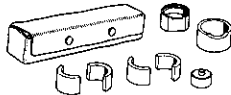
## 6 ブレーキ系統エア抜き

(S 8 参照)

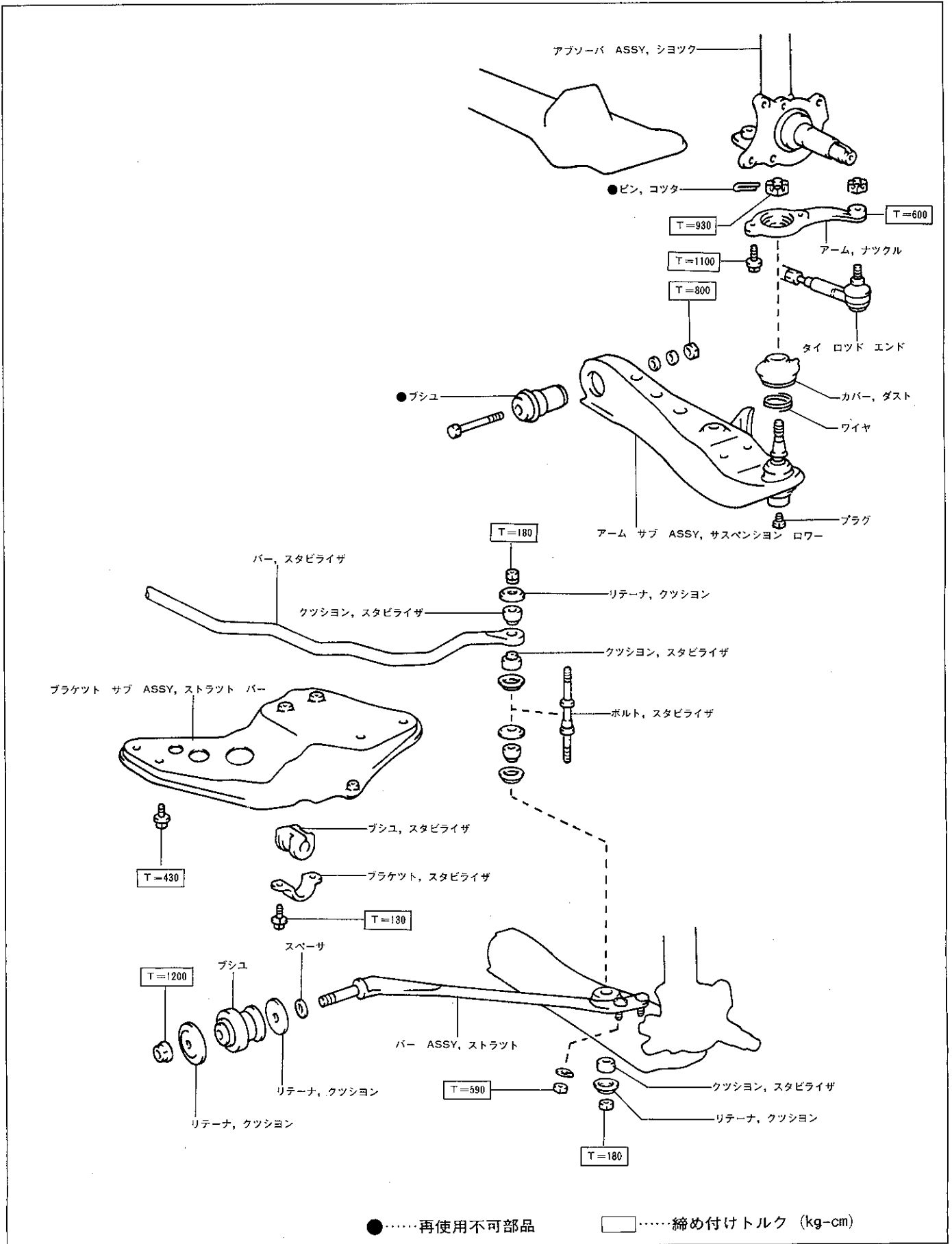
## 7 フロント ホイール アライメント点検

## フロント サスペンション

## 準備品

S S T		09610-20012 プラー, ビットマン アーム	タイ ロッド エンド切り離し用
		リムバ アンド リプレーサ, ロワー サスペンション アーム ブシュ	ロワー アーム ブシュ脱着用 (09726-01010, 09726-01020) (09726-01030, 09726-01040)

構成図



D1668

## ボール ジョイント

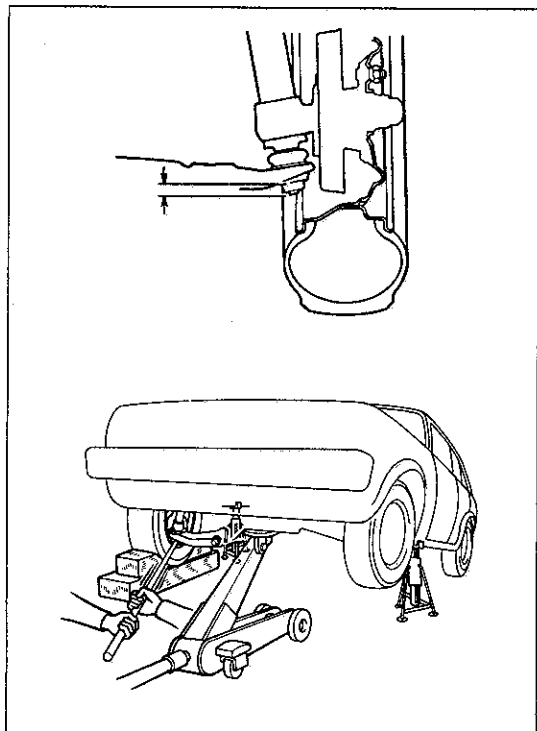
### ボール ジョイント点検

#### 1 ボール ジョイントのゆるみ点検

- (1) 車両のフロントをジャッキ アップし、高さが180~200mmの木のブロックを片側のタイヤの下に置く。
- (2) フロント コイル スプリングに半分程度の負荷がかかるようにジャッキを降ろす。安全のためスタンドを据える。
- (3) フロント タイヤがまっすぐ前を向くようにブロックをかう。
- (4) ロワー アームを上下に動かし、ボール ジョイントの垂直方向の遊びを点検する。

基準値 2.5mm

- (5) 反対側のボール ジョイントも同じ方法で点検する。



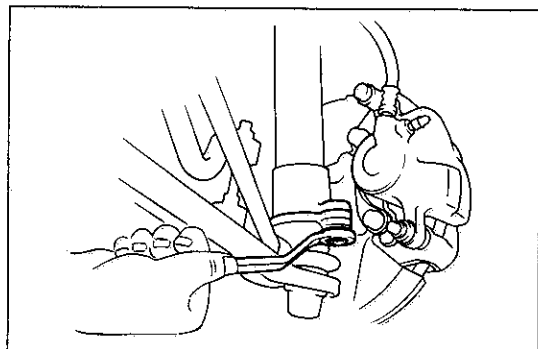
FA0294 MA0179

## ロワー アーム

### ロワー アーム取りはずし

#### 1 ショック アブソーバ切り離し

- (1) ショック アブソーバ下部取り付けボルト2本をはずし、ショック アブソーバを切り離す。

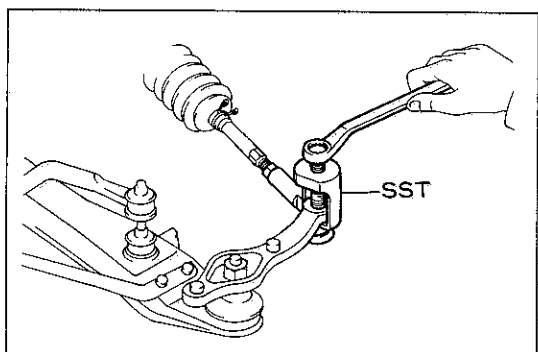


B5498

#### 2 タイ ロッド エンド切り離し

- (1) コッタ ピンおよびキャツスル ナットを取りはずす。
- (2) SSTを使用して、タイ ロッド エンドからナツクル アームを切り離す。

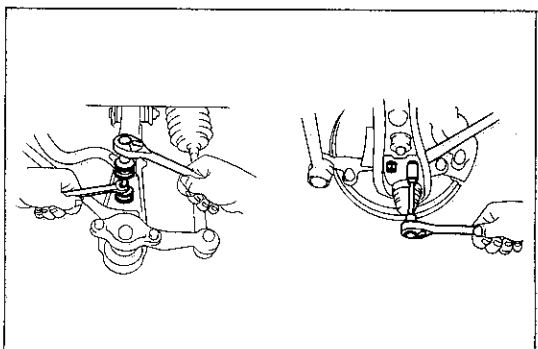
SST 09610-20012



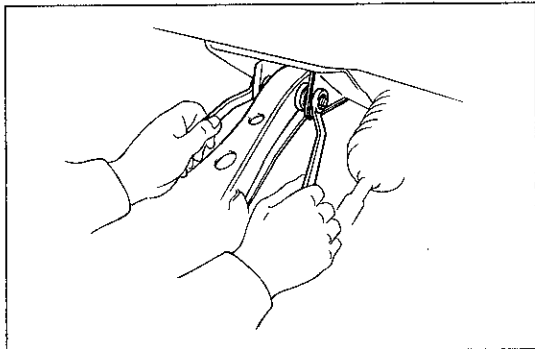
FA0296

#### 3 スタビライザ バーおよびストラット バー取りはずし

- (1) ロワー アームよりスタビライザ バーを切り離す。
- (2) ロワー アームよりストラット バーを切り離す。



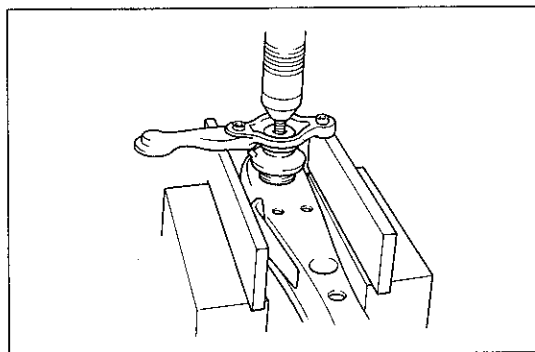
B5511 B5525



F A0297

#### 4 ロー アーム取りはずし

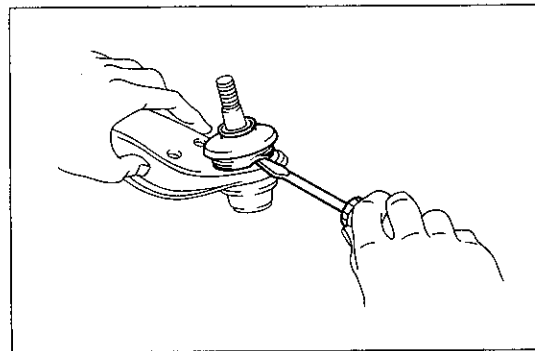
- (1) ロー アーム取り付けボルトをはずし、ロー アームをサスペンション メンバから取りはずす。



B 5514

#### 5 ナツクル アーム切り離し

- (1) コッタ ピンおよびキヤツスル ナットを取りはずす。
- (2) プレスを使用して、ロー アームからナツクル アームを切り離す。

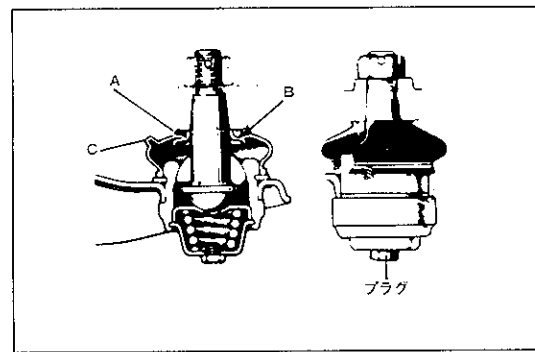


B 5515

### ロー アーム ダスト カバー交換

#### 1 ダスト カバー取りはずし

- (1) ダスト カバーのセット ワイヤを取りはずし、ダスト カバーを取りはずす。



B 5516

#### 2 ダスト カバー取り付け

- (1) ダスト カバー取り付け前に、ダスト カバー プレートのしゅう動部A部およびB部にキヤツスル シヤシ グリース スペシャルを塗布する。
- (2) ダスト カバーのエスケープ バルブ Cが車両の後方に向くように取り付ける。
- (3) ダスト カバーが全周にわたってロー アームに密着するように針金を2回巻きにし結び目は車両の前方または後方にし下方へ折りまげておく。

**注意** 針金は線径1mmのものを使用する。

- (4) ボール ジョイント下部のプラグをはずし、グリース フィットテイングを取り付ける。
- (5) キヤツスル シヤシ グリース スペシャルを注入する。
- (6) グリース フィットテイングをはずしプラグを取り付ける。

## ロワー アーム ブッシュ交換

### 1 ロワー アーム ブッシュ取りはずし

- (1) SSTとバイスを使用して、ブッシュをロワー アームから前方へ抜く。

SST 09726-01030 09726-01040 09726-01010

**注意** アームを変形させないようにSSTを正しくセットする。

### 2 ロワー アーム ブッシュ取り付け

- (1) SSTとバイスを使用して、新品のブッシュをロワー アーム前方から圧入する。

SST 09726-01030 09726-01040 09726-01020

**注意** ・ブッシュ圧入時およびアームのボス部にグリースやオイルを付着させないこと。

・圧入時必ず外筒のフランジ部を押しツバ部まで入れる。

## ロワー アーム取り付け

### 1 ロワー アーム取り付け

- (1) ロワー アームをサスペンション メンバにボルトで仮り締めする。

### 2 スタビライザ バーおよびストラット バー取り付け

- (1) スタビライザ バーをボルトおよびナットでロワー アームに取り付ける。

T=180kg-cm

- (2) ストラット バーをナットでロワー アームに取り付ける。

T=590kg-cm

### 3 ナックル アーム取り付け

- (1) ナックル アームをナットでボール ジョイントに取り付ける。

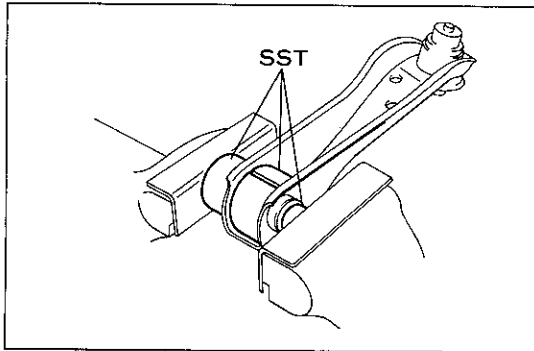
- (2) ナットを締め付け、新品のコッタ ピンを取り付ける。

T=930kg-cm

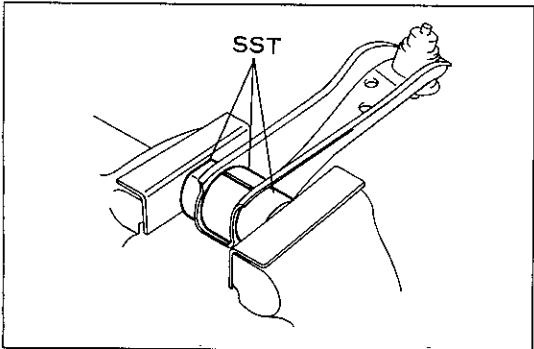
- (3) ナックル アームをナットでタイ ロッドに取り付ける。

- (4) ナットを締め付け、新品のコッタ ピンを取り付ける。

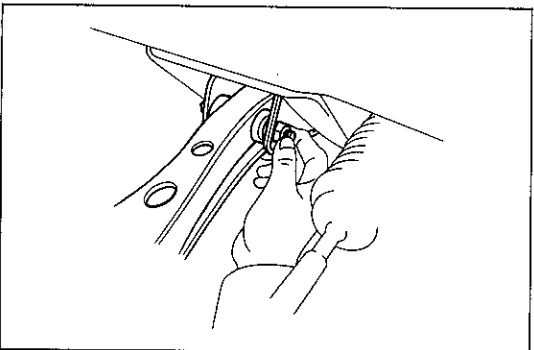
T=600kg-cm



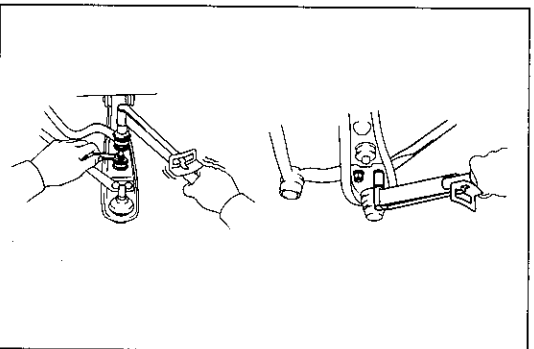
B5517



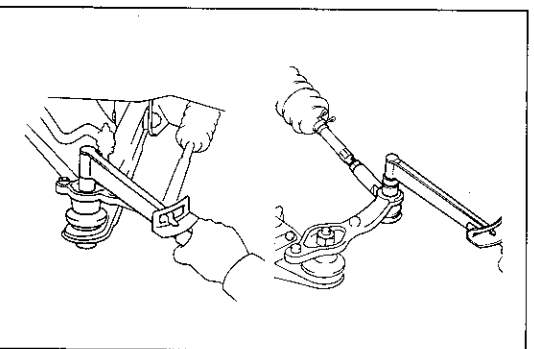
B5518



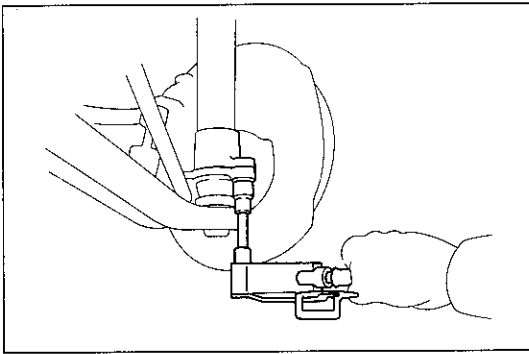
FA0302



B5520 B5521



B5522 FA0303

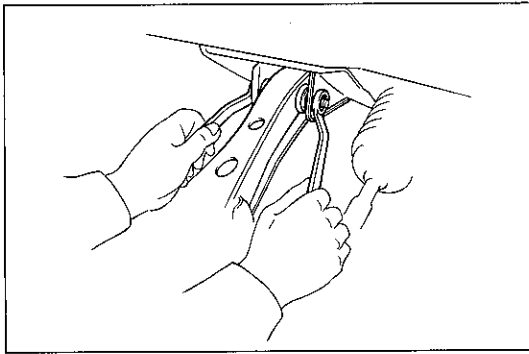


F A 0292

4 ショック アブソーバ取り付け

- (1) ショック アブソーバ シエルを据え付け、ナツクル アーム  
ボルトで取り付け。

T=1100kg-cm



F A 0297

5 タイヤ取り付け

- (1) タイヤを取り付け、車両をおろす。

T=1050kg-cm

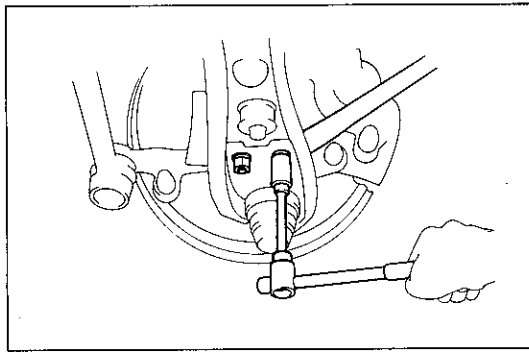
6 ロワー アーム ボルト締め付け

- (1) 車両を数回ゆすりサスペンションを落ち着かせてから規定トル  
クで締め付ける。

T=800kg-cm

7 フロント ホイール アライメント点検

(S 6-3 参照)



B 5525

ストラット バーおよびスタビライザ  
バー

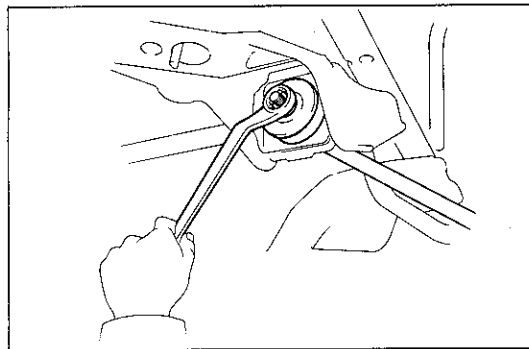
ストラット バーおよびスタビライザ バー取りは  
ずしおよび点検

- 1 エンジン アンダ カバー取りはずし

- 2 ストラット バー切り離し

- (1) ナット 2 個をはずし、ストラット バーをロワー アームから  
切り離す。

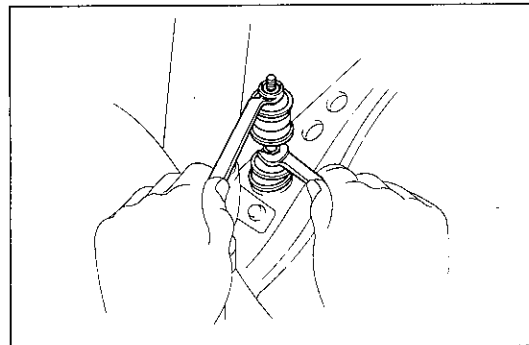
- 3 ストラット バー ナットおよびリテーナ取りはずし



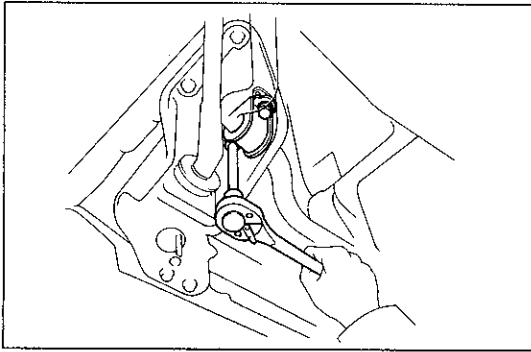
F A 0304

- 4 スタビライザ バー切り離し

- (1) ナット、リテーナおよびクッションをはずし、スタビライザ  
バーをロワー アームから切り離す。



F A 0305



F A 0313

## 5 スタビライザ ブラケット取りはずし

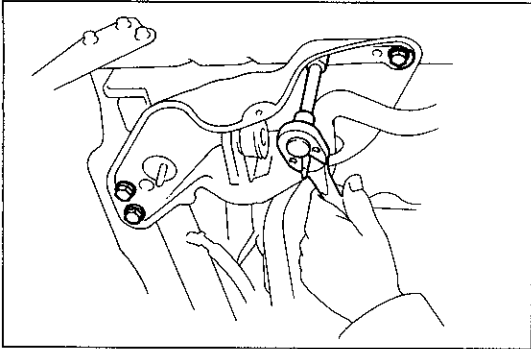
(1) ボルト2本をはずし、スタビライザ ブラケットを取りはずす。

## 6 ストラット バー取りはずし

(1) スタビライザ バーの端を上げて、ストラット バーを引き出す。

(2) リテーナおよびスペーサをストラット バーから取りはずす。

〈参考〉 スペーサはアライメント調整用のため取り付けしていない車両もある。



F A 0306

## 7 ストラット バー ブラケット ウィズ スタビライザ バー取りはずし

(1) ボルト4本をブラケットからはずし、ストラット バー ブラケット ウィズ スタビライザ バーを取りはずす。

## 8 スタビライザ バー取りはずし

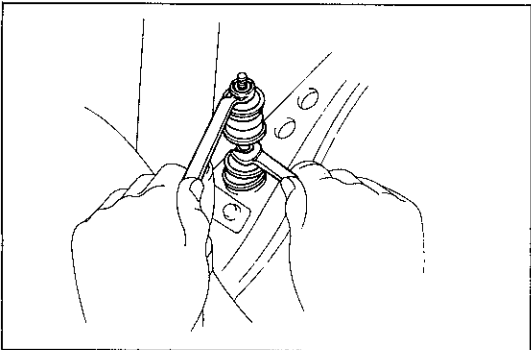
(1) ブッシュを取りはずし、スタビライザ バーをブラケットから抜き取る。

## 9 スタビライザ バー仕様点検

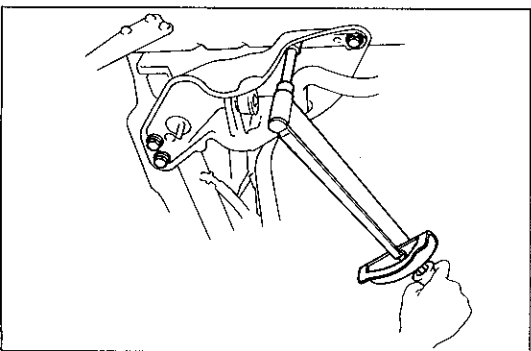
仕様

型式	項目	識別色	外径×内径(mm)
フ ロ ン ト	S X 70, Y X 70	白 (桃)	24.2×18.2 *(23.0×17.4)
	G X 71(1 G-EU)	緑	25.4×18.4
	G X 71(1 G-GEU)	青	27.2×21.2
ト	M X 71	赤	26.5×19.5
	L X 70 Y L X 70(2 L)	緑 (白)	25.4×18.4 *(24.2×18.2)
	L X 70(2 L-T)	緑	25.4×18.4

\* ( ) 内はP/Sなし車



B 5527



F A 0341

## ストラット バーおよびスタビライザ バー取り付け

## 1 ストラット バー ブラケット ウィズ スタビライザ バー取り付け

(1) スタビライザ バーをブラケットに通して、ブッシュを取り付ける。

(2) ストラット バー ブラケットをボルト4本でボデーに取り付ける。

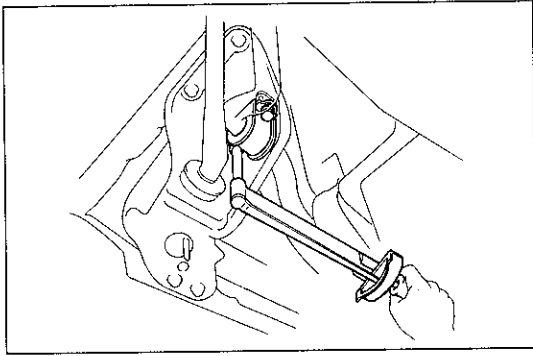
T=420kg-cm

## 2 ストラット バー取り付け

(1) スペーサおよびリテーナをストラット バーに取り付ける。

〈参考〉 スペーサはアライメント調整用のため取り付けしていない車両もある。

(2) ストラット バーをブラケットに差し込み、ローアームにセットする。

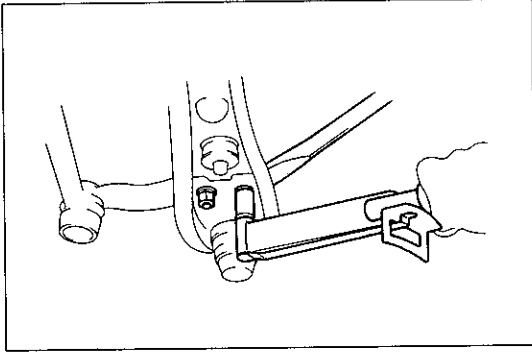


F A 0314

### 3 スタビライザ ブラケット取り付け

- (1) スタビライザ ブラケットをブッシュを介して、ストラット バー ブラケットに取り付ける。

T=130kg-cm

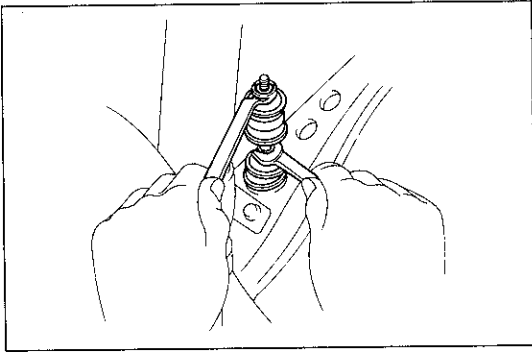


B 5521

### 4 ローアーム取り付け

- (1) ストラット バーをナット2個でローアームに取り付ける。

T=590kg-cm

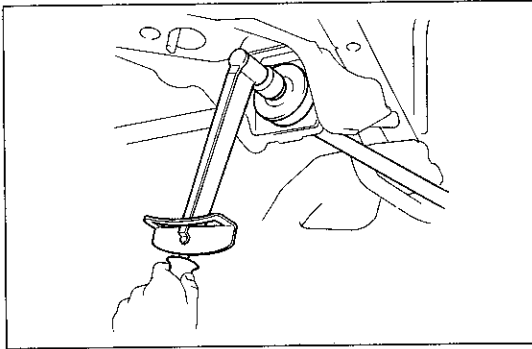


B 5527

### 5 スタビライザ取り付け

- (1) スタビライザ ボルトにスタビライザ バーを取り付け、クッションおよびリテーナを取り付けナットを締め付ける。

T=180kg-cm



F A 0307

### 6 ストラット バー取り付け

- (1) リテーナを介してナットを締め付ける。

T=1200kg-cm

### 7 エンジン アンダカバー取り付け

### 8 フロント ホイール アライメント点検

(S 6-3 参照)

---

MEMO